通販生活プレミアム

山崎範夫の電子ミシン

取扱説明書

型式　AG-003

安全上のご注意
（はじめにお読みください）
2ページ ～5ページ

ミシン各部のなまえ
6ページ ～ 8ページ

縫うための準備
9ページ ～ 21ページ

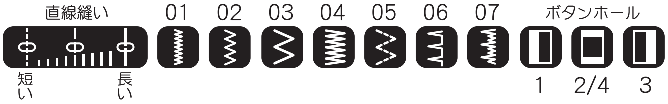
縫ってみる
（基本編・実用編）
22ページ ～ 30ページ

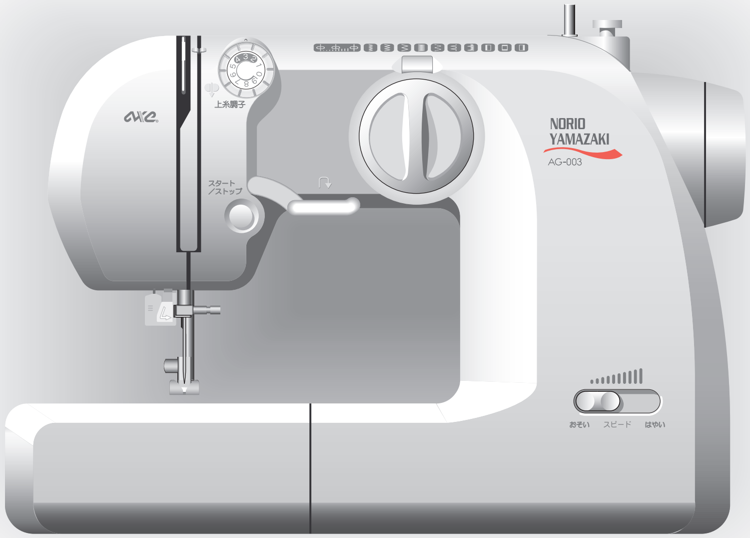
お手入れと困ったときは
31ページ ～ 34ページ

このミシンの特長

- ●電子回路により低速でも強力なパワーがあります。
- ●縫う速度は低速から高速まで自在に調節できます。
- ●直線縫いはこまかい縫い目からあらい縫い目まで自在に長さが選べます。
- ●針への糸通しが簡単な針穴糸通し器が装備されています。

このミシンで縫える模様





※　この取扱説明書は再生紙を使用しています。

株式会社 アックス ヤマザキ

もくじ

もくじ 1

安全上のご注意 2～ 4
- 安全にお使いいただくために・・・・・・・2
- 警告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・4

使用上のご注意 5
- 守っていただきたいこと ・・・・・・・5

各部のなまえ 6～ 8
- 付属品 ・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 補助テーブルのはずしかた ・・・・・・6
- ミシン本体〈前面〉・・・・・・・・・・・7
- 針と針板周辺部品 ・・・・・・・・・・7
- ミシン本体〈背面〉・・・・・・・・・・・8
- 釜カバーの開きかた ・・・・・・・・・8

縫うための準備 9～21
- ミシンの設置 ・・・・・・・・・・・・9
- 電源コード接続の前に ・・・・・・・・9
- ミシンの動かしかた ・・・・・・・・10
- 針と糸、布の関係 ・・・・・・・・・11
- 正しい針の選びかた ・・・・・・・・11
- 針のとりかえかた ・・・・・・・・・12
- 押えのはずしかた ・・・・・・・・・12
- 押えの取り付けかた ・・・・・・・・13
- 糸立棒の取り付けかた ・・・・・・・13
- ボビンケースの取り出しかた ・・・・14
- 下糸の巻きかた ・・・・・・・・・・15
- ボビンケースにボビンをセットする ・16
- ボビンケースを釜に入れる ・・・・・16
- 上糸のかけかた ・・・・・・・・17～18
- 針穴糸通し器の使いかた ・・・・19～20
- 下糸を引き出す ・・・・・・・・・・20
- 模様の選びかた ・・・・・・・・・・21
- フリーアームの使いかた ・・・・・・21

縫ってみる　基本編 22～23
- ためし縫い ・・・・・・・・・・・・・22
- 糸調子の確認と合わせかた ・・・・・23

縫ってみる　実用編 24～30
- 直線縫い ・・・・・・・・・・・・・・24
- 返し縫い ・・・・・・・・・・・・・・24
- 縫い方向のかえかた ・・・・・・・・・25
- 段縫い ・・・・・・・・・・・・・・・・25
- 厚地の縫い始め ・・・・・・・・・・・25
- ジグザグ縫い ・・・・・・・・・・・・26
- 点線ジグザグ縫い ・・・・・・・・・・27
- まつり縫い（ブラインドステッチ） ・・28
- ボタンホールかがり ・・・・・・29～30

お手入れ 31～32
- 釜の掃除と注油 ・・・・・・・・・・・31
- 送り歯の掃除 ・・・・・・・・・・・・32
- ランプの交換 ・・・・・・・・・・・・32

困ったときは 33～34

別売りフットコントローラーの使いかた 35

純正指定部品のご案内 36

ミシンの仕様 37

修理サービス要領 38

保証書 裏表紙

●安全にお使いいただくために

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

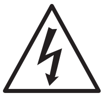
この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

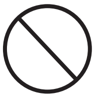
警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じるおそれがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです

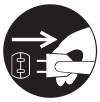
危険性を促す記号

		
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります

行為を「禁止」する記号

	
してはいけないこと	分解禁止

行為を「指示」する記号

	
必ずすること	電源プラグをコンセントから抜く

●このミシンは日本国内向け家庭用です。 For use in JAPAN only.
国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねます。

●仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることを、ご了承ください。

●取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

●取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

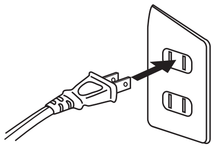
2009 AXE YAMAZAKI CO.,LTD. All Rights Reserved. Pinted in TAIWAN.

安全上のご注意

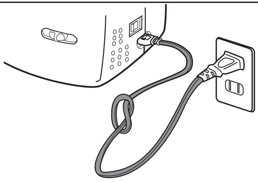
警告　死亡、火災、感電のおそれがあります。

火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。

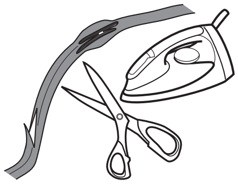


電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

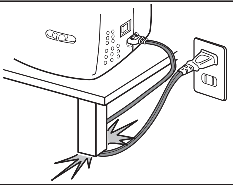


傷付いたり、溶けて線がむき出しになった電源コードを使わないでください。

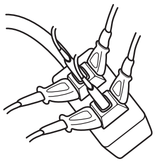
＊コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正の電源コードをお買い求めください。



電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。

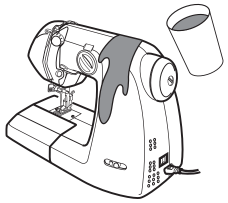


延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。

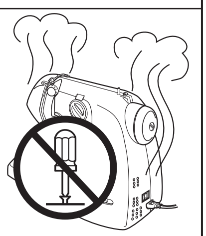


火災・感電の原因となります。販売店・サービスセンターにご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。



落としたり正常に作動しないときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

安全上のご注意

注意	ケガや財産に損害が生じるおそれがあります。

電源コードを引き抜くときは電源プラグを持ってください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
電源コードはミシンに巻き付けないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
ミシンを不安定な場所に置かないでください。
ミシンの動作中に、はずみ車・針・釜・天びんに手を触れないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。
釜カバーを開いたままミシンを操作しないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
縫製中に布を無理に引っぱったり押したりしないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
ミシンを使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になるおそれがあります。
ミシンから離れたり使用を中断するときは、電源プラグを抜いてください。 火災の原因になるおそれがあります。
幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になるおそれがあります。
糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。
ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。
交換した針を放置しないでください。
お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。
針・押え・アタッチメント・ランプを交換するときは、電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。
屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。

●守っていただきたいこと

長くお使いいただくため、次のことを守ってください。

業務用や縫製以外の目的には、ご使用にならないでください。
極度の部品摩耗や破損につながります。

注意	ケガやミシンの故障が発生するおそれがあります。

■曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

- ・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをするおそれがあります。
- ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

- ・木、プラスチック、金属などの板
- ・ぬれた布、粗い網(漁網など)
- ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布
- ・厚さ６ミリ以上の布

■保管時の結露（つゆつき）について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露（つゆつき）が起こることがあります。

結露がなくなるまで、電源を入れずにお待ちください。

そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■糸がらみのとき、糸・布を引っぱらない

針や部品を破損します。

絡んだときは針板をはずし、針糸と針板裏側の糸を切ると布がはずれます。

■ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。

ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■説明書で指定された以外の分解・改造はしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■使用した後、上糸と糸立棒をはずす

糸をかけたまま収納すると、糸立棒を破損します。上糸と糸立棒をはずし、カバーをかけてください。

■長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

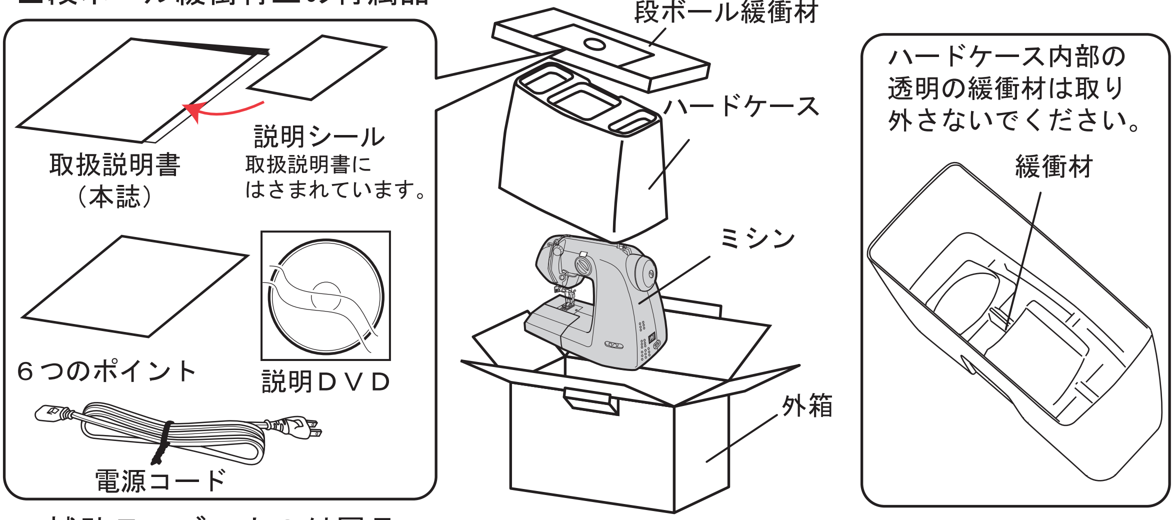
⚠ 注意

同梱している付属部品でお子様がケガをするおそれがあります。誤って油を飲んだ際には「鉱物油」である事を伝えて医師の治療をお受けください。

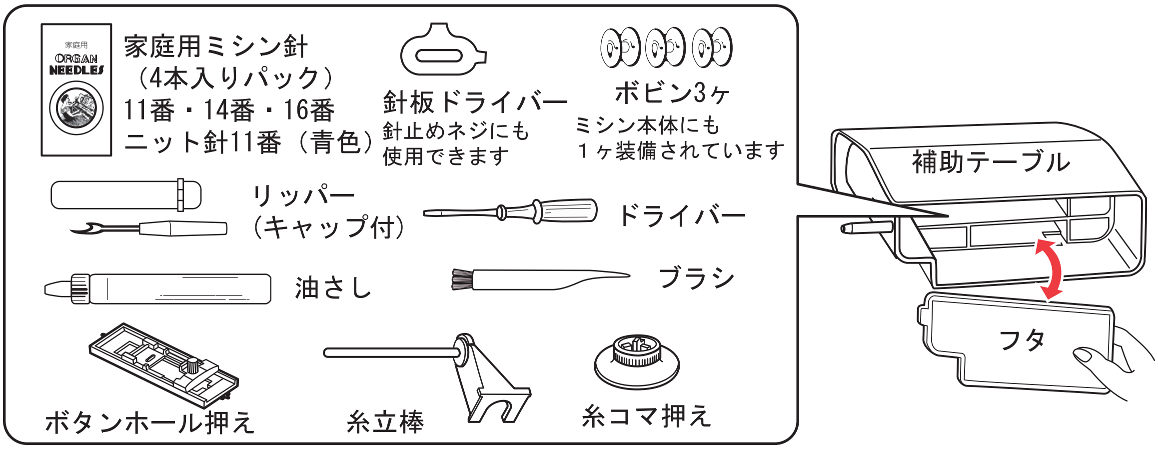
●付属品

段ボール緩衝材と、ミシンの補助テーブルの中に付属品が入っています。
長期間の保管や修理などの輸送時に必要になりますので、外箱と緩衝材は保存してください。

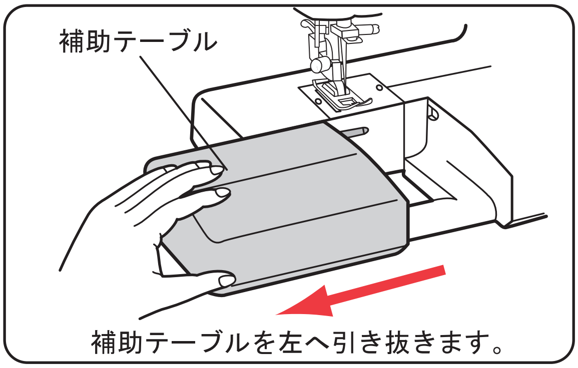
■段ボール緩衝材上の付属品



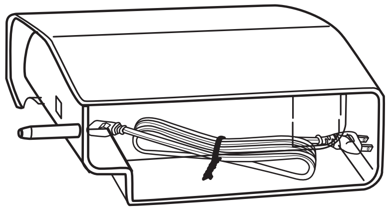
■補助テーブル内の付属品



●補助テーブルのはずしかた

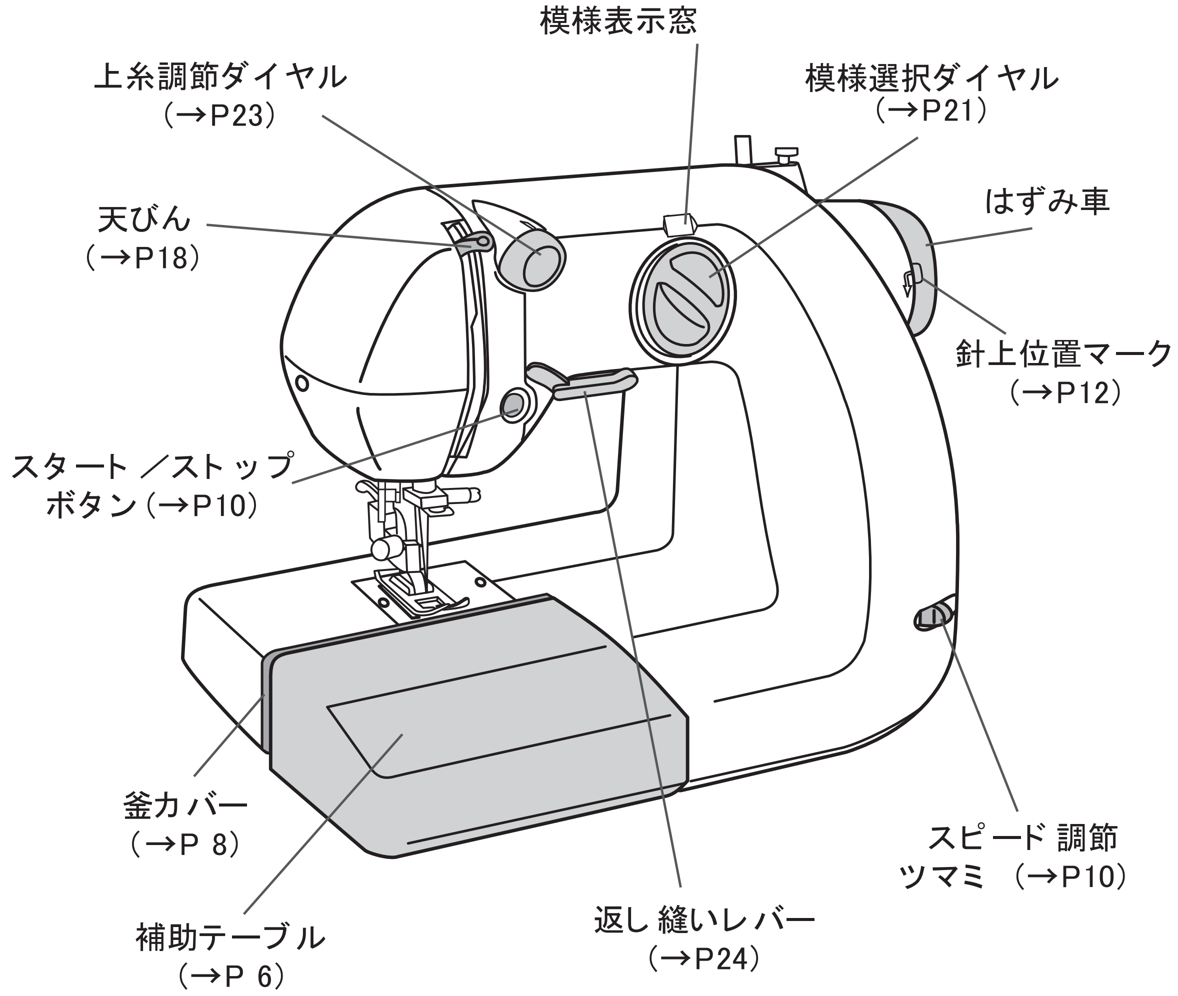


＊電源コードは補助テーブル内に収納することができます。

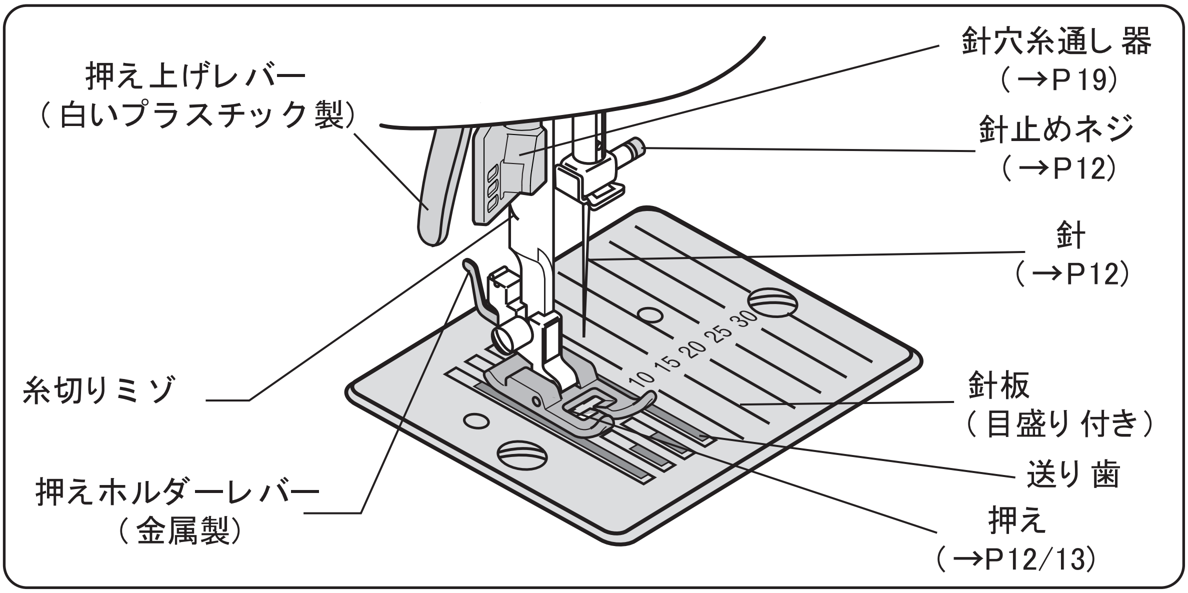


各部のなまえ

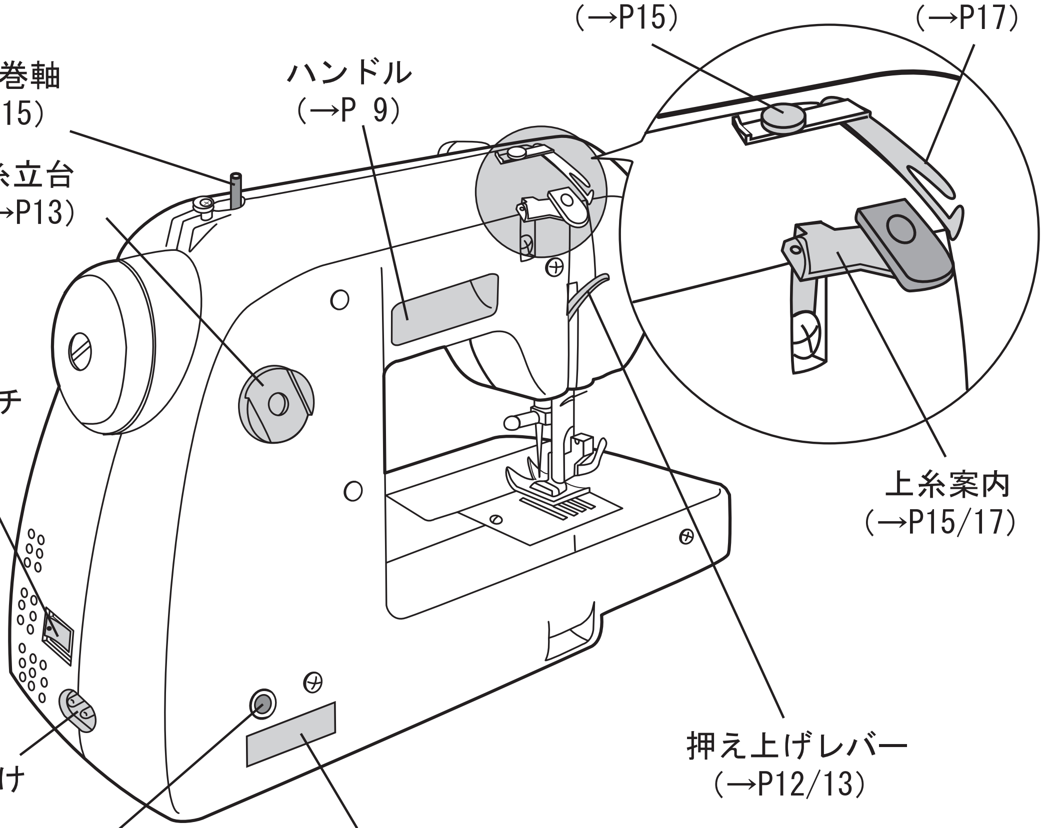
●ミシン本体〈前面〉



●針と針板周辺部品

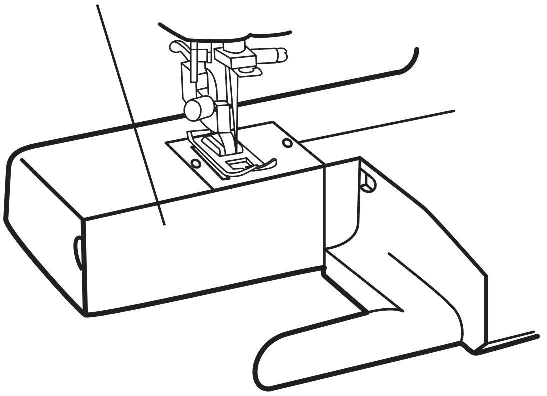


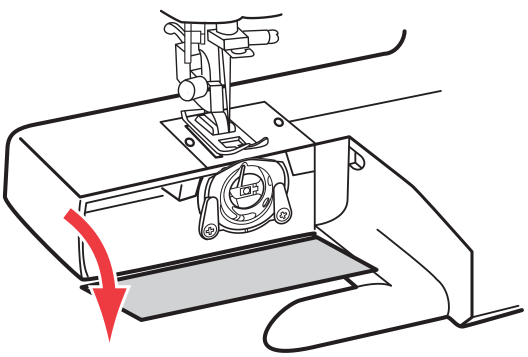
●ミシン本体〈背面〉



●釜カバーの開きかた

補助テーブルをはずしたあと、釜カバーを手前に開きます。
＊釜カバーは途中で開き止まります。

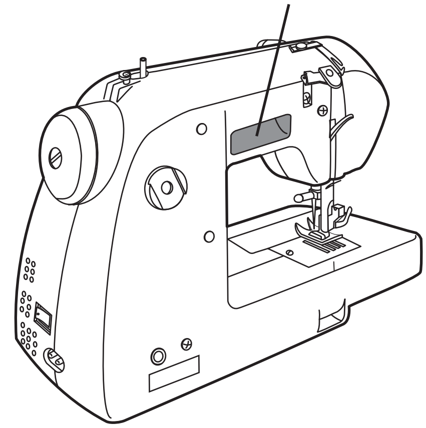


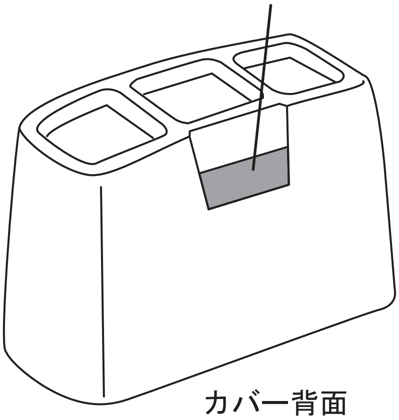


●ミシンの設置

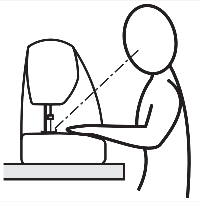
⚠ 注意	安定した場所に設置する。 作業スペースを十分に確保する。 周囲に物を置かない。 はずみ車や針・天びんなど動く部分が露出しています。 ケガの原因になります。

ミシンを持ち運ぶ際には、背面のハンドル部分に手を掛けて持ち運びます。
持ち運びの際は針やとがった部品に注意し、設置場所に置くときは静かに置いてください。
＊カバーをかけたままでもハンドル穴から手をかけることができます。

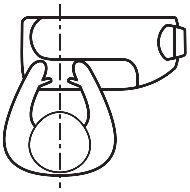




♦ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置にミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が一致するようにミシンを設置してください。

●電源コード接続の前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。

1 本体に糸がかかっている場合は糸をはずす

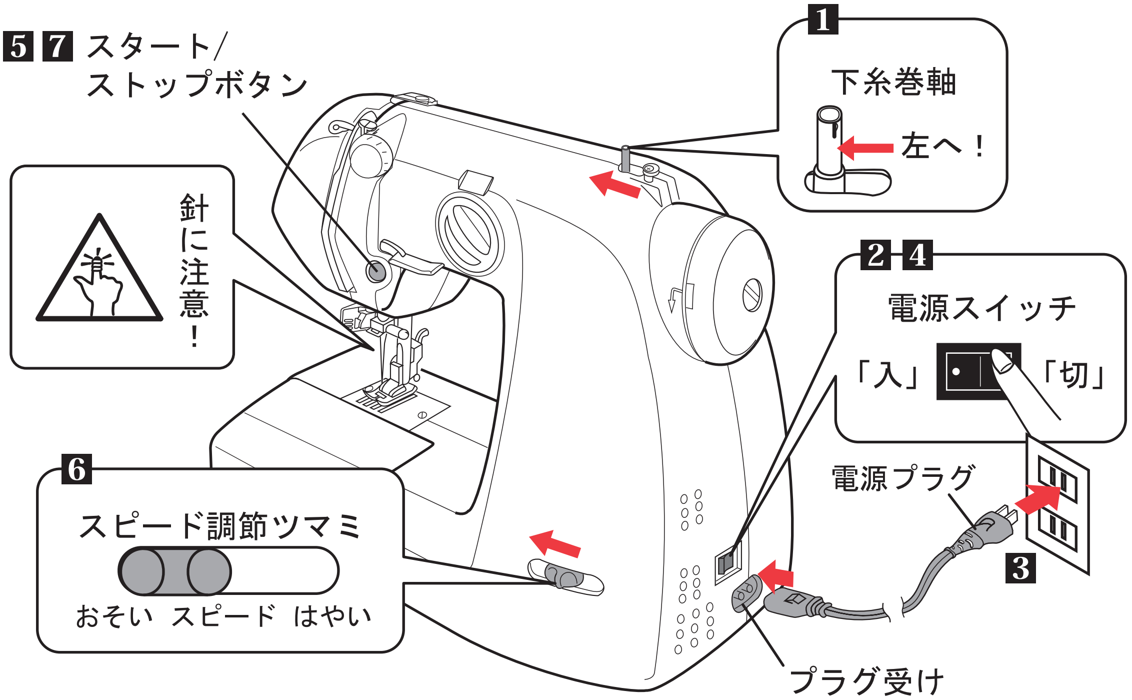
収納の際にかけていた糸がはずれている場合があります。
そのまま縫い進めると、故障の原因になります。

2 電源を「入」にする前に、はずみ車を手で回してみる

ミシンが正常に動くかを確認します。
針が曲がっていると、釜に針が当たったり、針穴に針が刺さりません。
（→P12「針のとりかえかた」参照）

●ミシンの動かしかた

⚠ 注意	電源コードを差し込む前に電源スイッチを「切」にする。 はずみ車や針の周りに手や物を置かない。 使用後は電源スイッチを「切」にし、コンセントを抜く。 ミシンが突然動き、ケガをするおそれがあります。



1 下糸巻軸を左側に押します。
2 電源スイッチを「切」にします。
3 電源コードを本体のプラグ受けと家庭用電源に差し込みます。
4 電源スイッチを「入」にします。（ランプが点灯します）
5 ミシンを始動させる場合は、スタート／ストップボタンを指先で押すとミシンが動き始めます。（押し続けなくても動きます）
6 スピード調節ツマミを左から右に動かすと縫う速度が速くなり、右から左に動かすと縫う速度が遅くなります。
7 ミシンを停止させる場合は、スタート／ストップボタンを押すと針が上で停止します。

❗	安全にお使いいただくため、ミシンに慣れるまではスピード調節ツマミを「おそい」にしてお使いください。 このミシンは停止時に針が上で止まります。ミシンが完全に停止するまでは、はずみ車に手を触れないでください。 また 1 の下糸巻軸を右に押した状態で、スタート /ストップボタンを押すと針は動かず、下糸巻軸のみ回転します。

10ページ

●針と糸、布の関係

・きれいに縫うためには、布に合った針と糸をご使用ください。（下表参照）
・上糸と下糸は同じ種類･同じ太さのものをご使用ください。
・綿や絹糸は古くなると糸が切れやすくなります。ご使用中に、すぐに切れてしまうようであれば、新しい糸に交換してください。
・針は家庭用ミシン針（HAx1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
・工場出荷時、ミシンには14番の針が装備されています。
（その他付属の針は 6ページ参照）

布の種類		糸の番号 ※1	針の番号 ※2
薄　地	薄地ジョーゼット、ボイル、タフタ、オーガンジー、絹布など。	綿 80 ～ 100 絹 60 ～ 80 化繊糸 80 ～ 100	9～11
普通地	さらさ木綿、薄手コーデュロイ、ピケ、ギンガム、リンネル、サテン、別珍、一般服地など。	綿 50 ～ 80 絹 50 化繊糸 50 ～ 80	11～14
厚　地	ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデュロイ、タオルなど。	綿 40 ～ 50 絹 50 化繊糸 50 ～ 60	16
伸縮性の生地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	綿 60 化繊糸 50 ～ 80 ニット用糸	ニット用針 11～14

※1：糸は数字が大きくなるほど細くなります。
※2：針は数字が大きくなるほど太くなります。

●正しい針の選びかた

◆正しい針と不良針の見分けかた

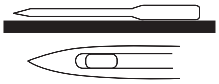
注意

曲がった針を使わない
針が折れ、飛び散るおそれがあります。
ケガをするおそれがあります。

針は家庭用ミシン針（ＨＡ×１）を使う
上糸と下糸は原則的に同じ種類･同じ太さのものを使う

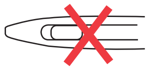
・目飛び・糸がらみがする場合は、針先が曲がっていたり、つぶれている可能性があります。
・古くなった針を使用すると針のサビなどが原因で縫い目が波打ったり、しわになったりします。
・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。
見た目だけでは判断出来ない場合もあります。
すぐに新しい針に交換してください。（針の交換は12ページ参照）

○　正しい針

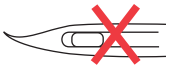


×　悪い針

全体に曲がっている



先端のつぶれ



先端の曲がり

※ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

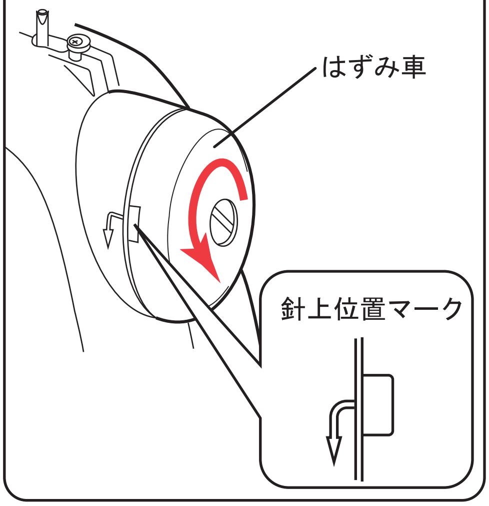
縫うための準備

●針のとりかえかた

⚠ 注意	
	電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	針先に注意 ケガをするおそれがあります。
	針は平らな面を後向きにつける 針が折れ、ケガをするおそれがあります。 また、縫い目ができず縫えません。

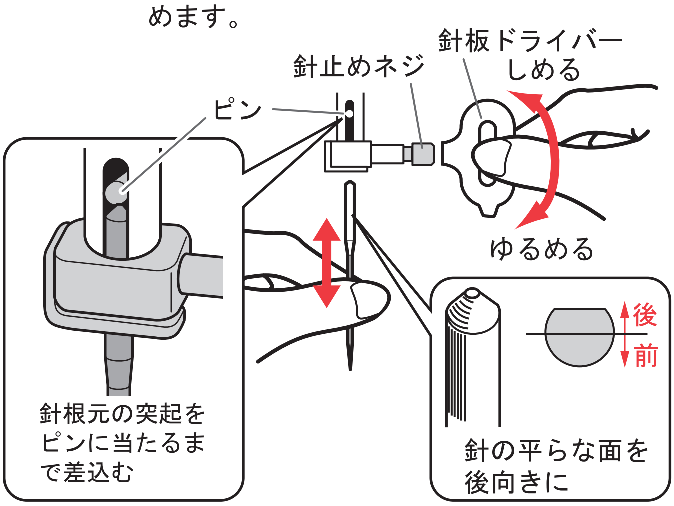
1 針の位置を合わせます

はずみ車を手前にまわし、針上位置マークを図のように合わせます。
（針が上位置になります）



2 針をはずす･つける

はずす：取り付けられている針を持ち、針止めネジをゆるめ、針を下に引き抜きます。
つける：平らな面を自分から見えないように持ち、ピンに当たるまで差込み、針止めネジをしめます。



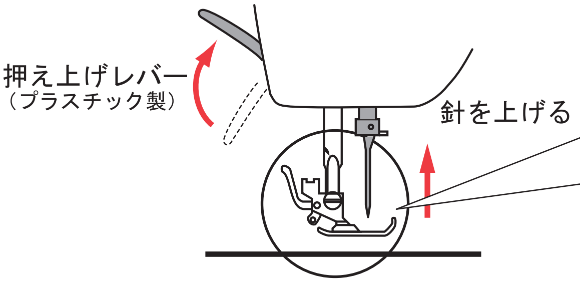
※付属の針板ドライバーを使ってください。

12ページ

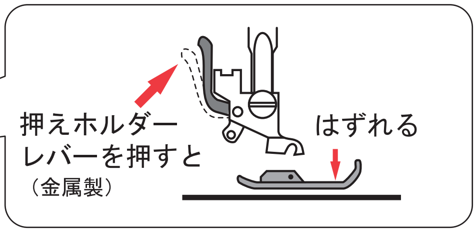
●押えのはずしかた

⚠ 注意	
	電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	針先に注意 ケガをするおそれがあります。

1 押え上げレバーを上げる



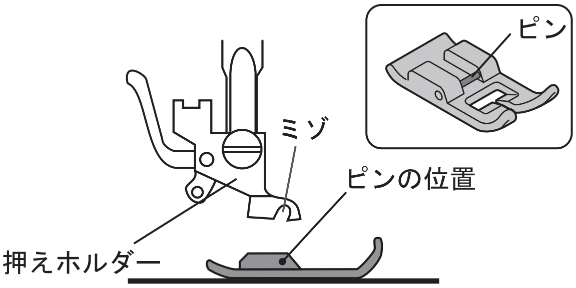
2 押えホルダーレバーを押しジグザグ押えをはずす



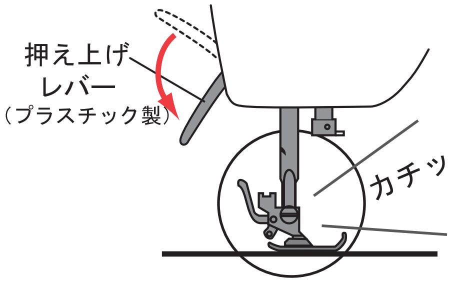
●押えの取り付けかた

⚠ 注意	
	電源プラグを抜く 突然動くとケガをするおそれがあります。
	針をはずす 針交換時にケガをするおそれがあります。

1 押え上げレバーを上げ、押えのピンを本体の押えホルダーミゾの真下にあわせる



2 押え上げレバーを下げる

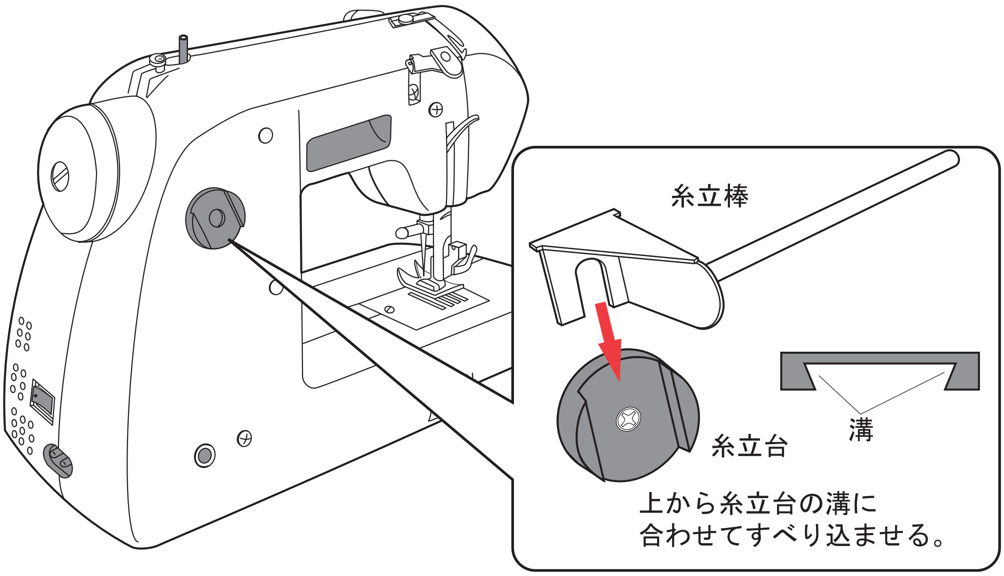


押え上げレバーを下げてカチッと音がすれば、押えが装着できています。

⚠ 押えを上げても、押えが取り付けられない場合は、もう一度押えの位置を少しずらして繰り返してください。

●糸立棒の取り付けかた

★糸立棒は補助テーブルの中に収納します。

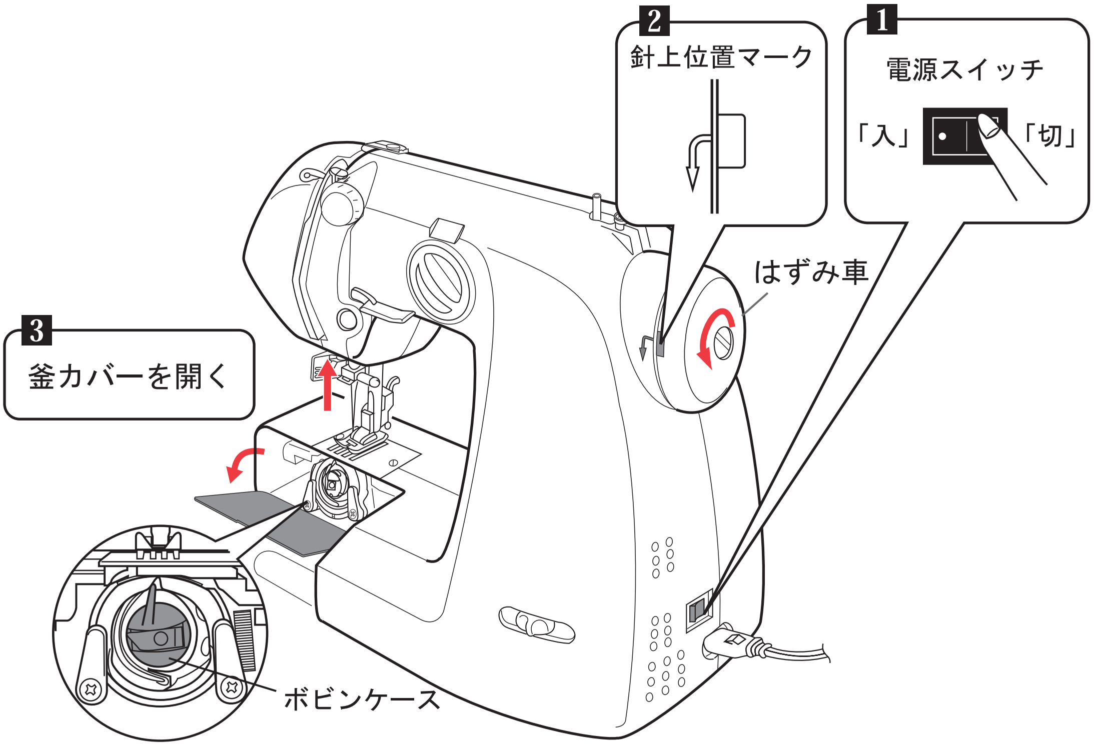


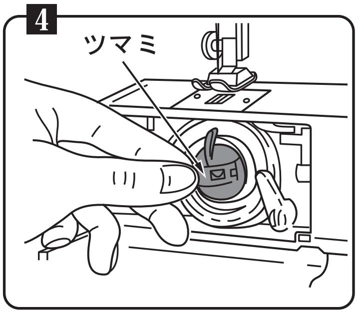
⚠ 注意	
	収納時には糸立棒をはずす 糸立棒を装備したままカバーをかけると破損します。

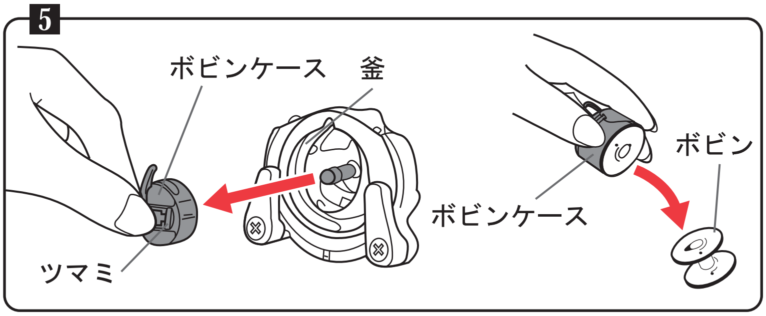
●ボビンケースの取り出しかた

⚠ 注意	電源スイッチを「切」にする 針の下に手を置かない ケガをするおそれがあります。

1 電源スイッチを「切」にします。
2 はずみ車を手前に回し、針上位置マークを合わせます。
（針の位置が上になります）
3 補助テーブルをはずし、釜カバーを開きます。（8ページを参照）
4 ボビンケースのツマミをおこし、つまんだまま引き抜きます。
5 ボビンケースを持ち変えてツマミを閉じると、中のボビンを取り出せます。
＊ボビンケースのツマミを閉じないとボビンは取り出せません。



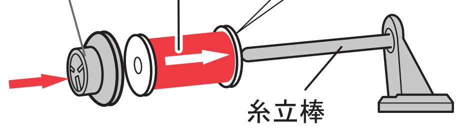




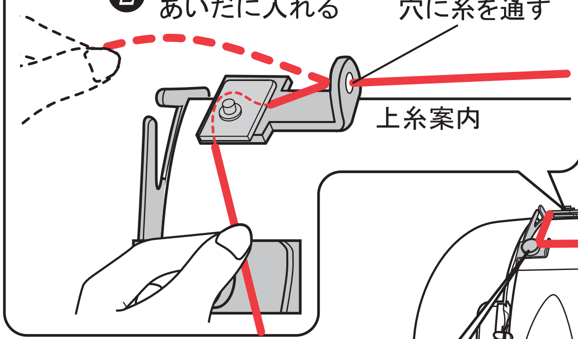
●下糸の巻きかた

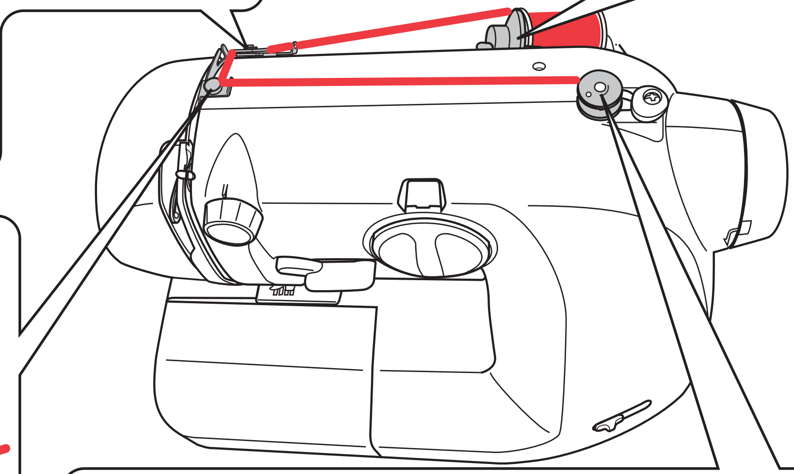
糸立棒、糸コマ押えは補助テーブルの中に入っています。

1 糸立棒



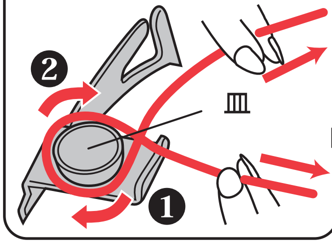
2 上糸案内





3 下糸巻案内

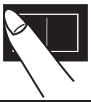
時計まわりに一周巻き
つけ、両側から引いて
皿の下にくいこませる



4 下糸巻軸

ボビンの穴に糸を内側
から通してから、ボビン
を下糸巻軸に差込み、
右側に押します

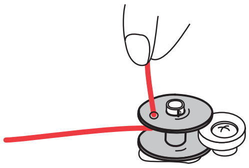
5 電源スイッチを「入」にする



6 糸を巻き始める

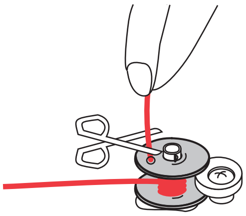
スピード調節ツマミ
を「おそい」にしてお
き、糸端を持ち、スタ
ート/ストップボタン
を押します。

ボビンが回り、糸を
巻き始めます。



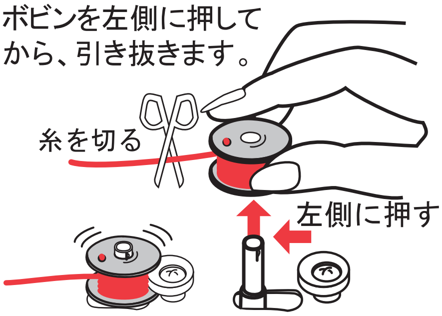
7 途中で持っていた糸を切る

少し糸が巻けたら一度ミシンを
止め、持っていた糸を根元で切
ります。
スピード調節ツマミを
「はやい」にして再びスタート
/ストップボタンを押し、スタート
します。



8 ミシンを止め、ボビンを抜く

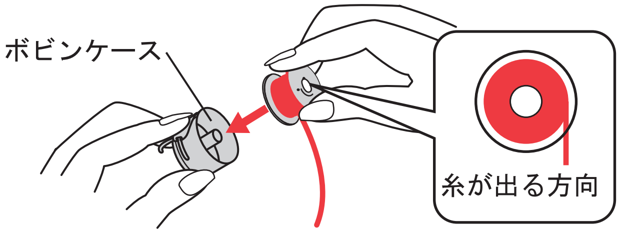
ボビンに糸が巻き終えると回転が
止まりますので、スタート/ストッ
プボタンを押しミシンを止めます。
（電源も「切」にします）
ボビンを左側に押して
から、引き抜きます。



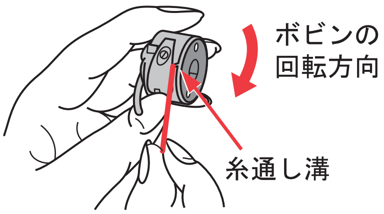
●ボビンケースにボビンをセットする

1 ボビンを入れる

ボビンから糸を10センチほど引き出し、
ボビンケースの中にいれます。
＊引き出した糸端が右側にくるように

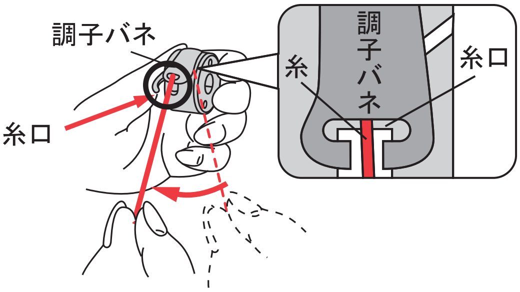


2 糸通し溝に糸を入れる



糸の端を持ち糸通し溝に入れます。
＊糸を引いたときボビンは時計まわりに
回転します。
ボビンがスムーズに回転しない場合は
ボビンやボビンケースが変形している
おそれがあります。

3 ボビンケースに糸をセットする



ボビンが回転しないようにボビンを押
さえながら糸を左へ引き、調子バネの
下を滑らせ、糸口まで糸を引きます。

●ボビンケースを釜に入れる

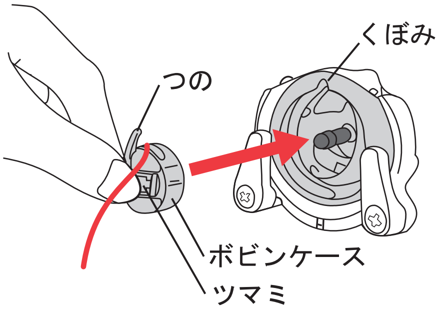
注意	電源スイッチを「切」にする 突然動くとケガをするおそれがあります。

1 針上位置マークを合わせる

はずみ車の針上位置マークを合わせて針を上げます。

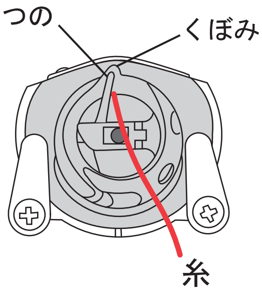
2 ボビンケースを装着する

ボビンケースのツマミを
持ち、つのを釜のくぼみ
に入るように合わせ、奥
まで差込みます。



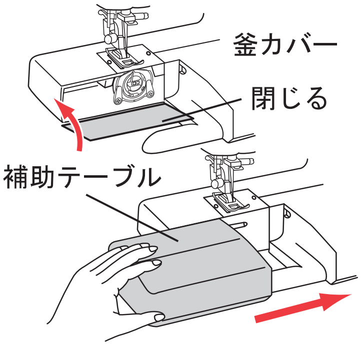
3 ツマミをはなす

差込んだ後ツマミをは
なし、固定されたこと
を確認して糸を手前に
たらしておきます。



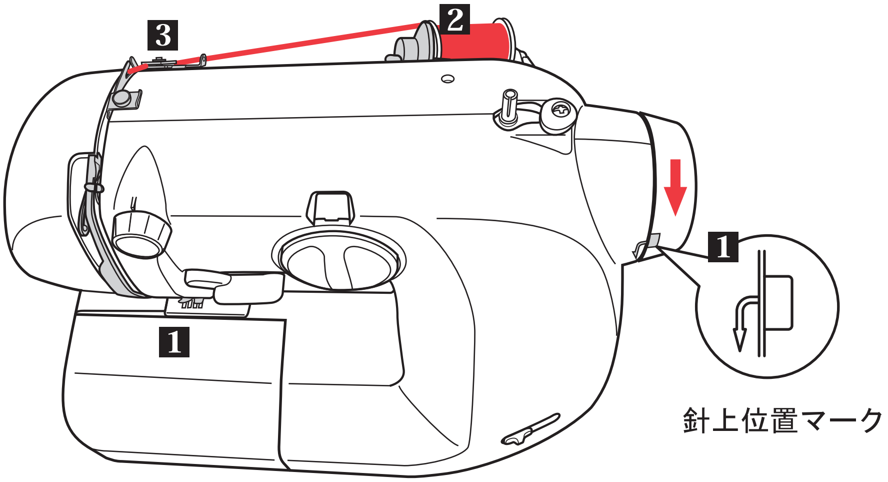
4 ボビンケースセット完了

釜カバーを閉じ、補助テ
ーブルを取り付けます。



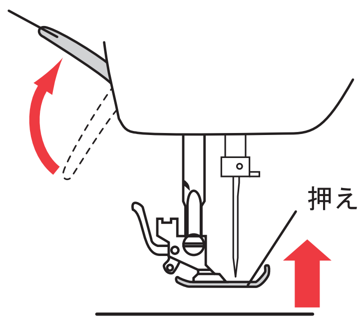
●上糸のかけかた

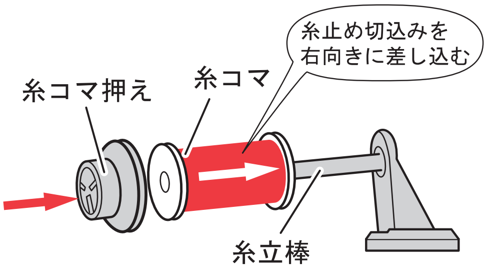
注意	電源スイッチを「切」にする 突然動くとケガをするおそれがあります。



1 押えを押え上げレバーで上げ、はずみ車の針上位置マークをあわせる

2 糸を糸立棒にセットする
（糸立棒の取り付けかた･･･P13参照）

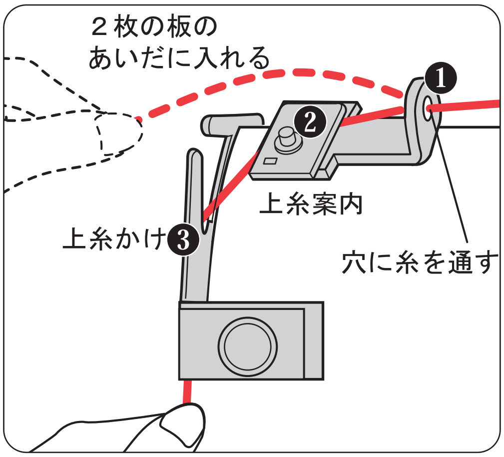




3 上糸案内、上糸かけに糸をかける

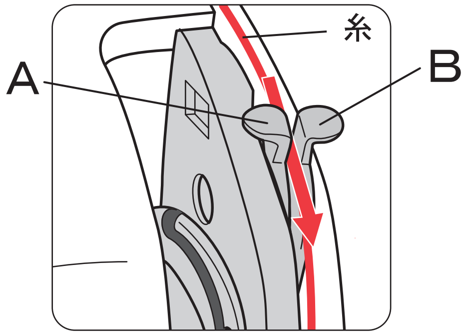
上糸案内の穴に右から糸を通し、2枚の板のあいだ、上糸かけの順で糸をかけます。

❶ → ❷ → ❸

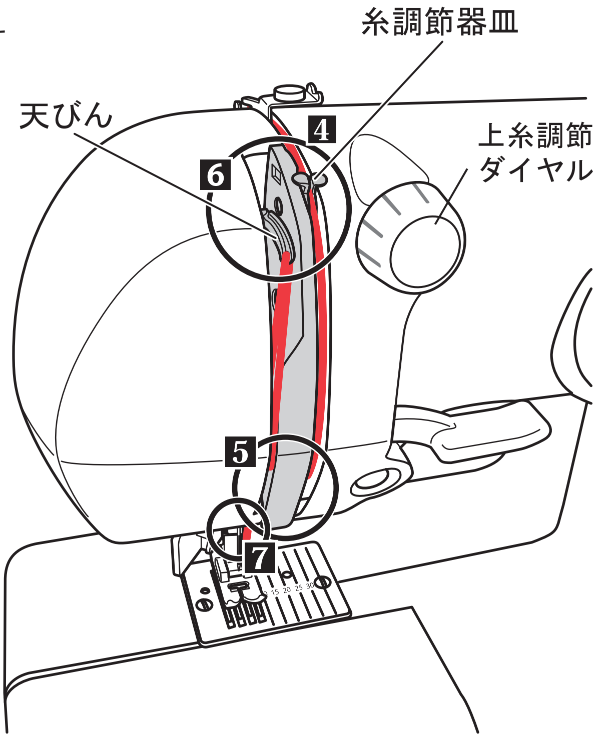


4 糸調節器皿の間に糸を入れる

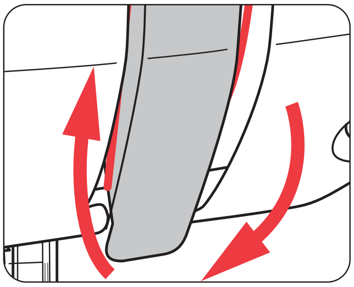
糸調節器皿ＡとＢの間に深く糸をいれます



! 糸は皿ＡとＢの間に、奥まで確実に挿入する。

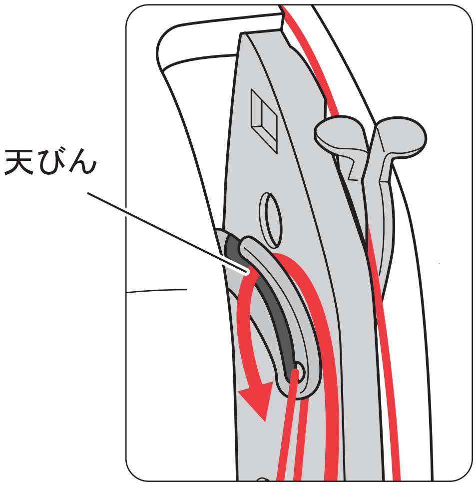


5 右溝から左溝へ糸をかける



6 天びんに糸をかける

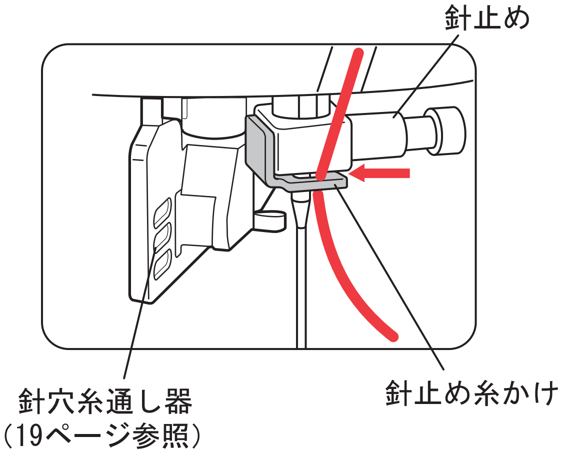
左溝の天びんに糸をかけます。
（天びんの奥から糸を引くとかかります）



! 天びんに糸がかかっていることを確認する

7 針止め糸かけに糸をかける

天びんから左溝にそって糸を引き下ろし、
針止めと糸かけの隙間に右からかけます。



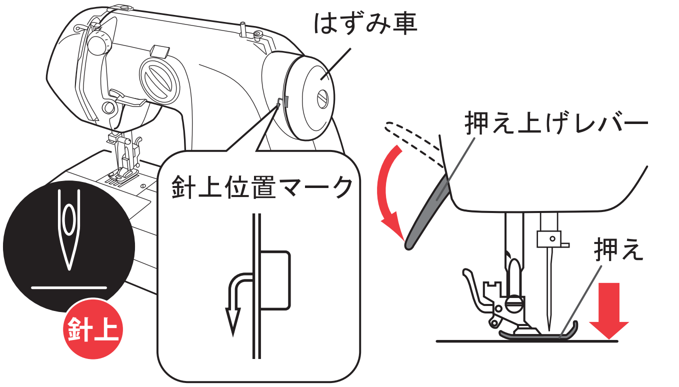
18ページ

●針穴糸通し器の使いかた

⚠ 注意	電源スイッチを「切」にする ケガをするおそれがあります。

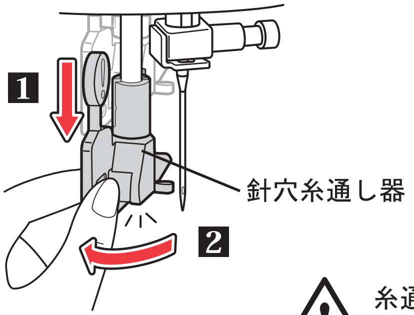
- 押えを下げる
- 針上位置マークを合わせる
- 曲がった針は使わない
- 針の太さ#14、16で使う
- 糸の太さ#40より細い糸で使う

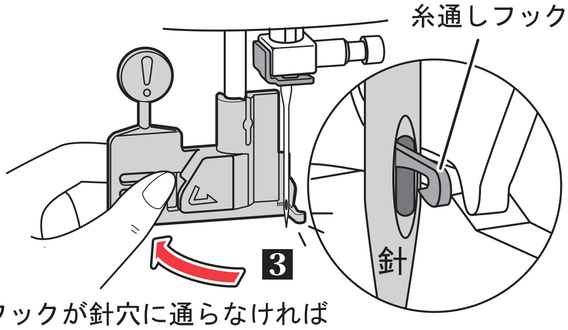
　＊糸通しフックが破損します。



19ページ

◆針穴糸通し器を針穴にセットする





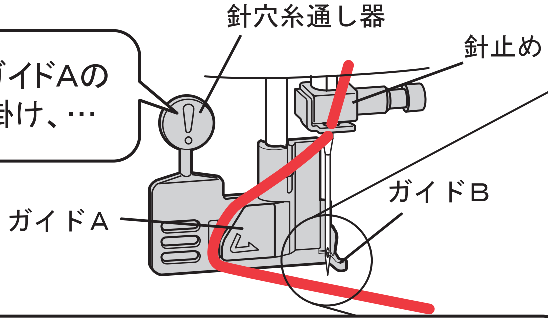
⚠ 糸通しフックが針穴に通らなければ
糸は通りません。

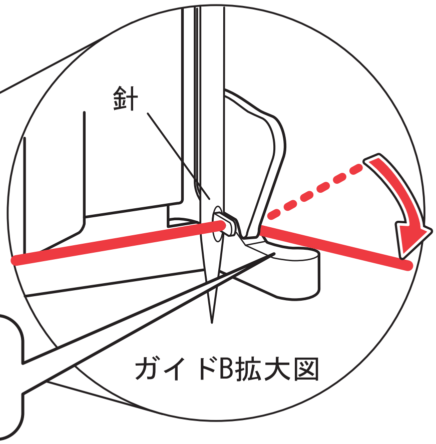
1 ツマミが下げ止まる所まで引き降ろし、
2 回転させます。
3 ツマミから手を離します。（針穴に糸通しフックが通ったままになります）

⚠ 注意	針穴糸通し器を下げすぎない 糸通しフックが破損するおそれがあります。

◆針穴糸通し器に糸をかける

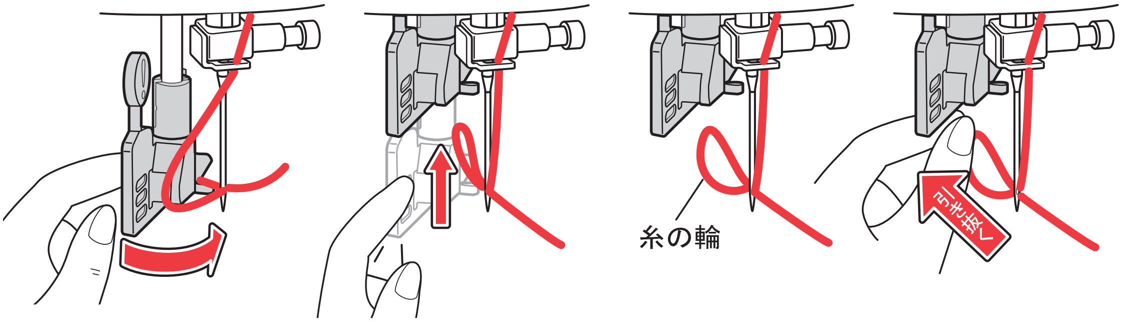
4 針止め、ガイドAの
順に糸を掛け、…





5 ガイドBに沿って糸を針まですべらせ、軽く
上手前に引くと糸通しフックに糸がかかります。

◆針穴糸通し器をもどす



6 手前に回して

7 レバーが上がると
針後ろに糸の輪が
できます。

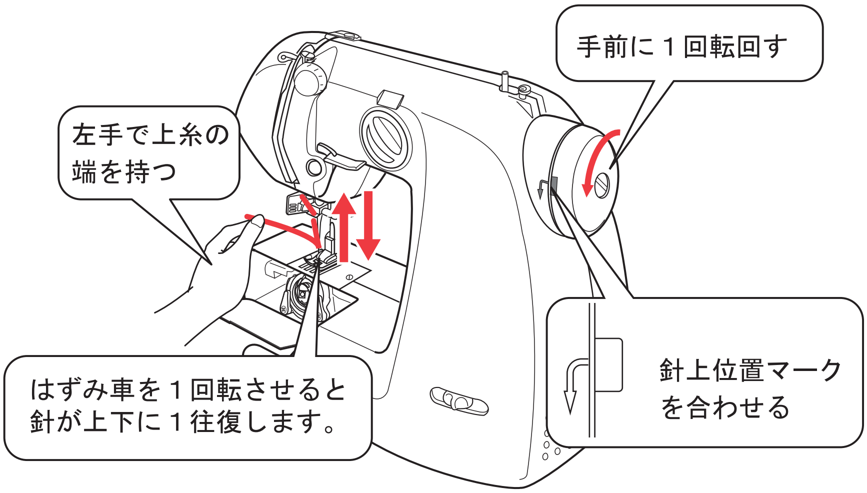
8 糸の輪を針の後ろ
から引き抜きます。

★誤った使い方では針穴糸通し器がはずれることがあります。
はずれた場合は針穴糸通し器の穴と軸を合わせて差込んでください。

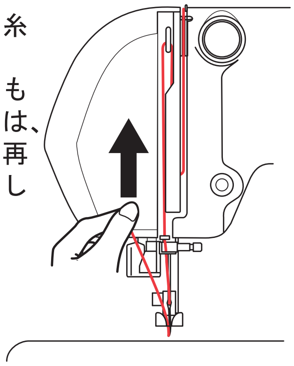
●下糸を引き出す

⚠ 注意	電源スイッチを「切」にする ケガをするおそれがあります。

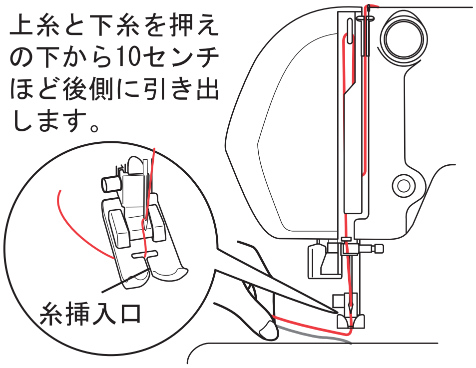
1 左手で上糸の端を持ち、はずみ車を手前に
１回転させて針上位置マークに合わせます。



2 上糸を引き上げると下糸
が引き出されます。
（針を１回上下させても
下糸が出てこないときは、
糸端を軽く引きながら再
度はずみ車を手前に回し
てください）

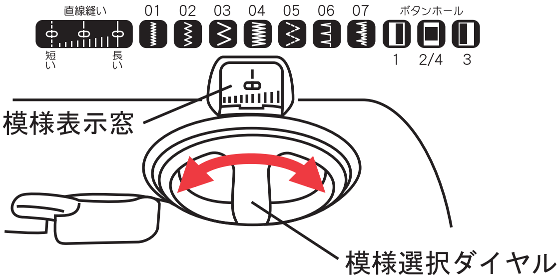


3 上糸と下糸を押え
の下から10センチ
ほど後側に引き出
します。



●模様の選びかた

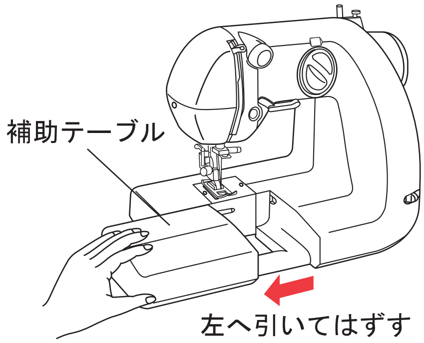
注意	針が刺さったまま、模様選択ダイヤルをまわさない ケガをするおそれがあります。

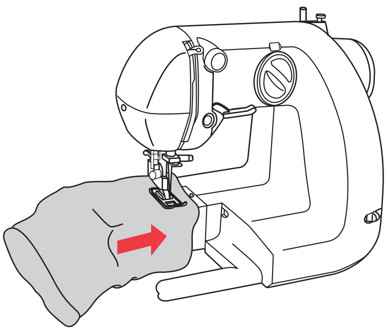


縫い模様	中基線	巾2	巾3.5	巾5	巾5				
	直線縫い	ジグザグ縫い				点線ジグザグ縫い	まつり縫い	伸縮まつり縫い	ボタンホール縫い
表示窓	短い 長い								1 4 2 3
使用する押え	ミシンに備えつけの押え（ジグザグ押え）								ボタンホール押え
ページ	24～25	26				27	28		29～30

●フリーアームの使いかた

袖付け、ズボンの裾上げなど筒形のものを縫うときは、補助テーブルをはずし、フリーアームとして使います。

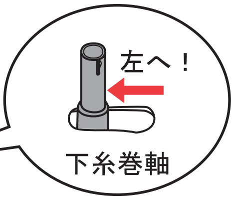


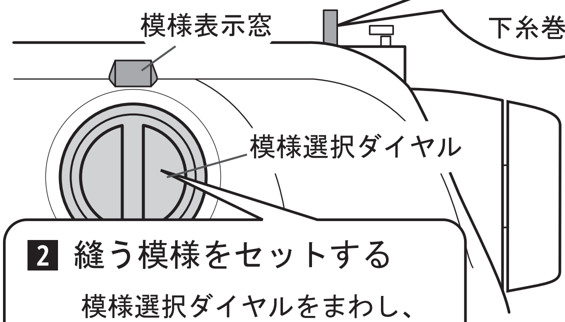


●ためし縫い

余り布などを使い、きれいに縫うことができるかを確認します。
布は2枚重ねて縫ってください。

1 下糸巻軸は左側にする
（軸が右にあると針は動きません）

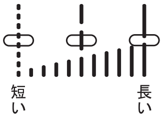




2 縫う模様をセットする

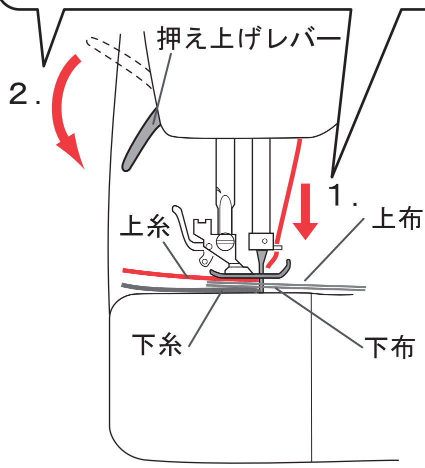
模様選択ダイヤルをまわし、模様表示窓に模様を表示させます。

初めて使用する場合は直線縫いにします。



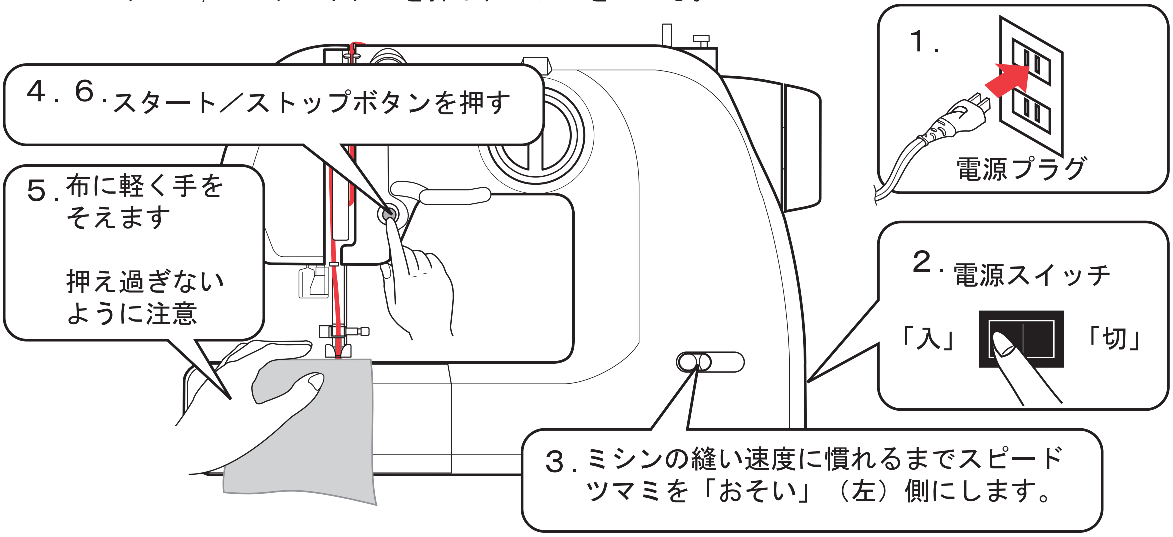
3 1. 布を押えの下に置き、はずみ車を手前にまわして縫い始める位置に針を刺します。

2. 押え上げレバーを下げます。



4 縫ってみる

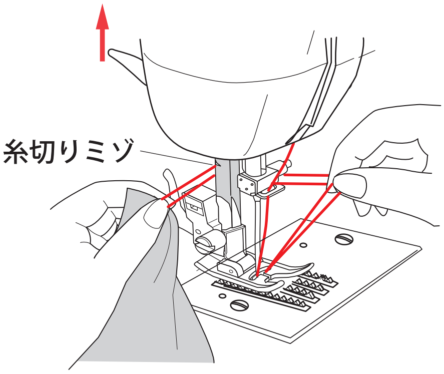
1. 電源プラグをコンセントにさす。
2. 電源スイッチを「入」にする。
3. スピードツマミを「おそい」にする。
4. スタート/ストップボタンを押し、縫い始める。
5. 布に手を軽くそえ、布の進む方向を修正する。
6. スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止める。



★薄地を縫うときや布送りが悪い場合には、ハトロン紙などの紙を布下に敷くとスムーズに縫うことができます。

5 布を引き出す

ミシンは停止時に針が上で止まりますが針上位置マークが合っていない場合は、はずみ車を手前にまわし針上位置マークを合わせます。



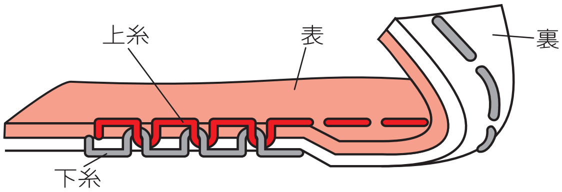
押え上げレバーを上げミシンの後側に布を引き出します。
上糸と下糸を糸切りミゾにかけて切ります。

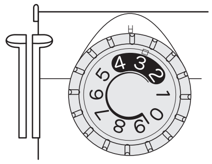
●糸調子の確認と合わせかた

ためし縫い布を見て、確認します。
（布・糸・縫い模様によっては随時糸調子の確認が必要です）
通常は上糸調節ダイヤルのみの調節で調子を合わせます。

■糸調子が正しいとき

上糸と下糸が布の中間で交差し、糸のたるみ、布縮みのない状態

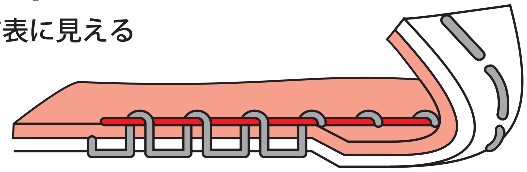




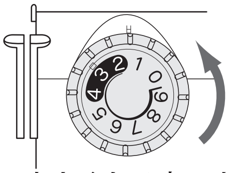
上糸調節ダイヤル

■上糸が強いとき

下糸が布表に見える



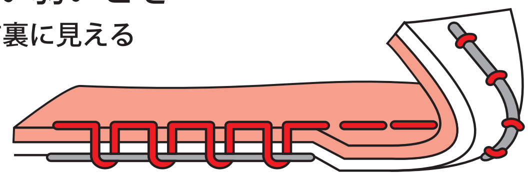
上糸を弱くするには....



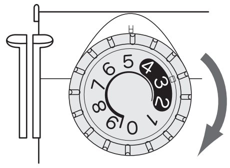
数字の小さくなる方にまわす

■上糸が弱いとき

上糸が布裏に見える

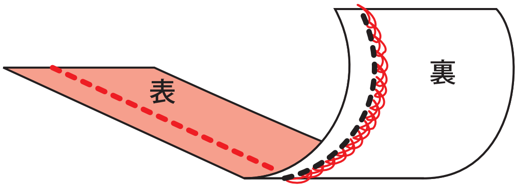


上糸を強くするには....



数字の大きくなる方にまわす

■布の裏側の糸がタオル地のようになるのは…



糸が裏側にたくさん出ている場合は
- 上糸調子が弱い
- 押え上げレバーが上がったまま
- 天びんから上糸がはずれている
- 上糸調節器皿に糸が入っていない（P18 **4** 参照）
- 上糸が太すぎる（30番より太い糸）
- 釜や針板にキズがある（P32 **6** 参照）

などが考えられます。
上糸をはじめからかけ直してください。

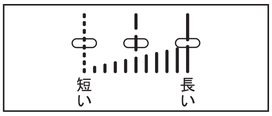
●直線縫い

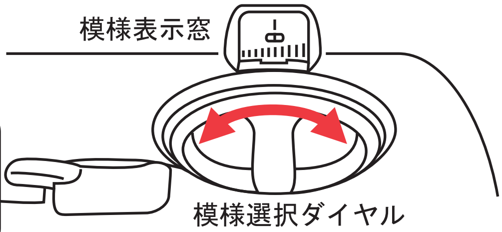
注意 針が刺さったまま、模様選択ダイヤルをまわさない
ケガをするおそれがあります。

1 はずみ車をまわし、針上位置マーク
をあわせる（針を上にします）

2 模様選択ダイヤルを回し、直線模様を選ぶ
縫い目の長さは
（短い）から （長い）まで
細かく調整できます。

表示模様





ワンポイント
アドバイス

布が進みにくいときは、
縫い目の長さを （長い）
側に回します。

●返し縫い

注意 針先が布に刺さった状態で返し縫いをするとケガをするおそれがあります。

- 縫い始め、縫い終わりがほどけないように、５～６針を返し縫いをします。
- 直線模様で返し縫いレバーをいっぱいまで下げ続けているあいだは、後進します。レバーから手を離すと前進します。

ワンポイント
アドバイス

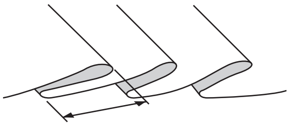
返し縫いレバーを下げても後進しないときは、レバーをさらに下げます。
（動いているときに後進します）

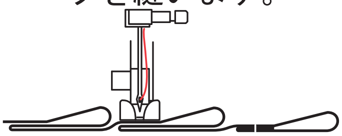
24ページ

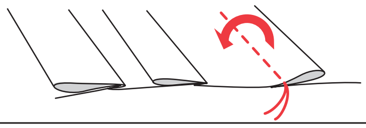
■（応用編）ピンタック

★ブラウスなどの装飾に使います。

1. アイロンでピンタックの折り山をそろえます。
2. 折り山を伸ばさないようにしながら、ピンタックを縫います。
3. アイロンで縫い目を隠すようにたおします。



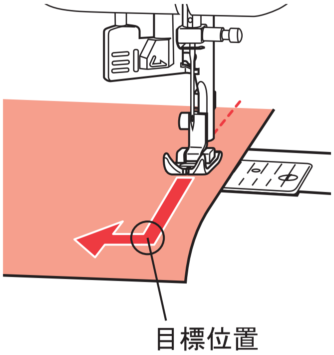




●縫い方向のかえかた

1 布の角まで縫い進む

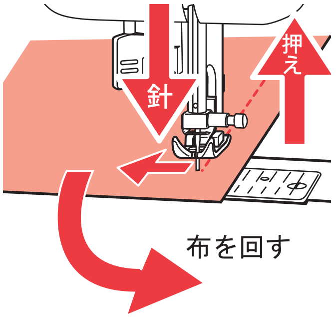
0.5～1.0センチ手前で止める。
角縫いの目標位置まではずみ車を手でまわし、縫い進める。
このとき、針は最下点まで刺します。
<u>更に、はずみ車を手前に回し針をほんの少し上げます。</u> 重要



2 押えを上げる

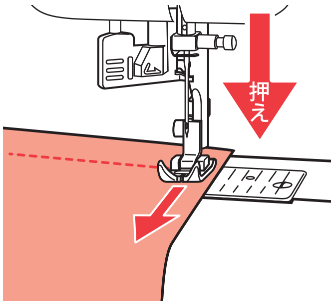
針を刺したまま押え上げレバーで押えを上げる。

3 針を刺したまま布の向きを変える



4 押えを下げ、再び縫い始める

縫い始めるときは押えを下げる



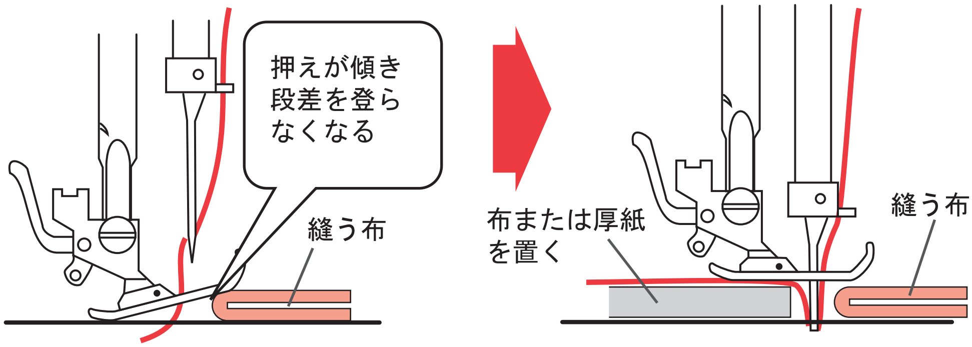
25ページ

●段縫い

布が重なり厚くなった部分は、布送りを手で助けながら縫います。

●厚地の縫い始め

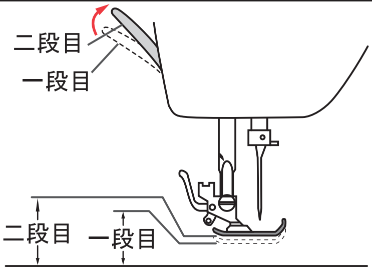
厚地の布を布端から縫い始めるときに押えが傾き、スムーズに縫えないことがあります。
このようなときは、押えの下に布と同じ厚さの厚紙などを置き、押えの傾きをなくします。



⚠ 注意	布を押し込んだり、引き出さない 針が折れ、ケガをするおそれがあります。

■押え上げレバーの操作

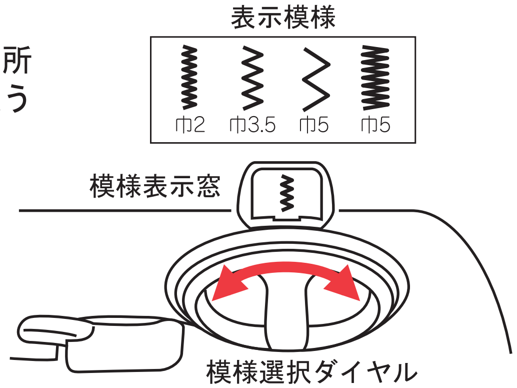
・押えの高さは一段目で止まります。
　二段目まで上げることができますが手を離すと一段目の位置に戻ります。
・押え上げレバーを下ろした時に一段目の高さを超えない程度の厚みで縫うようにしてください。



●ジグザグ縫い

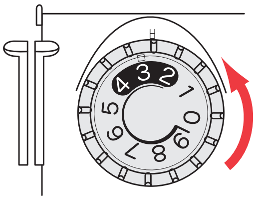
1 はずみ車をまわし、針上位置マーク
を合わせる（針を上にします）

2 模様選択ダイヤルをまわし、縫う場所
に応じて４種類のジグザグ模様を縫う
ことができます。



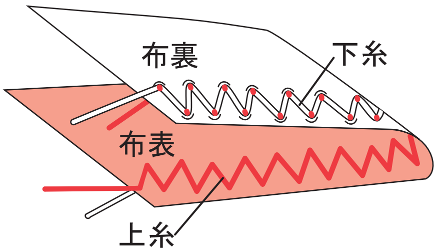
◆ジグザグ縫いの糸調子は…

ワンポイント
アドバイス



数字の小さい
方にまわす

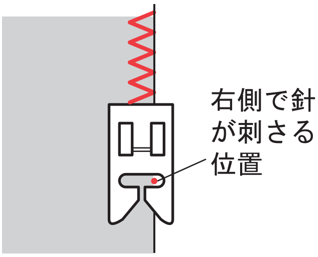
直線縫いよりも上糸調子をやや弱め
にするときれいに縫えます。



◆縁かがり（裁ち目かがり）

布端がほつれないようにします。
布の状態に合ったジグザグ縫いを選びます。

縫いかた：はずみ車を手前にまわして針が右に
きたとき、布端より針が少しはずれ
るように布を置き、押え上げレバー
を下げます。



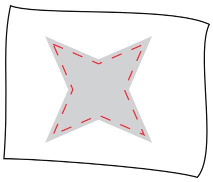
ワンポイント
アドバイス

布端がずれないように、ミシンのスピードを
「ゆっくり」にします。

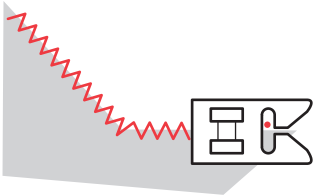
◆アップリケ

市販や自作のアップリケ布を別の布の上に縫いつけます。
ジグザグ縫いの選択は、形や大きさに応じて選びましょう。

1 アップリケ布を布にしつけるか、
布用ボンドで軽く止めます。



2 アップリケ布のまわりをジグザ
グ縫いで縫いつけます。



ワンポイント
アドバイス

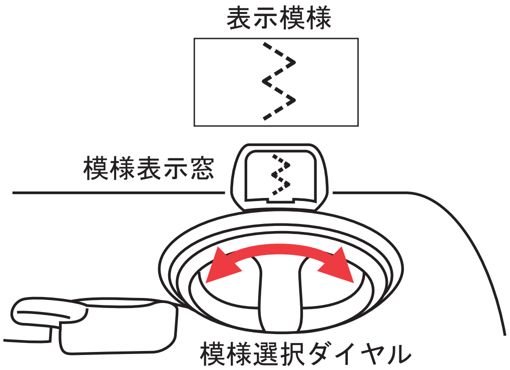
縫い方向をかえる場合はアップリケ布の外側に針を刺し、押え上げ
レバーを上げて布の方向を変えます。

26ページ

●点線ジグザグ縫い

1 はずみ車をまわし、針上位置マークを合わせる（針を上にする）

2 模様選択ダイヤルをまわし、点線ジグザグ縫いを選ぶ

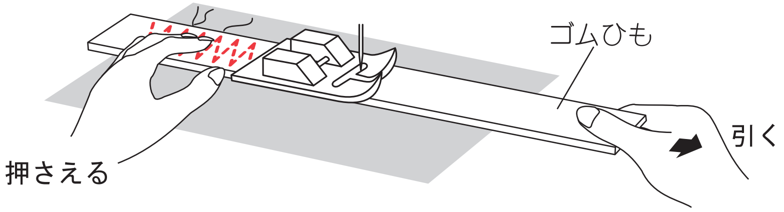


ジャージやトリコットなどの伸縮性のある布の縫製に適したジグザグ縫いです。布が伸びても縫い糸が切れません。伸縮性布地の縁かがりやゴムひもの縫い付けにも利用できます。

◆ゴムひもの縫い付け

1 ゴムひもはでき上がり寸法＋縫いしろ（２センチ程）の長さ分を用意します。

2 ゴムの縫い上がりが押えの後側から出てきたら、ゴムひもを伸ばしながら縫い進めます。



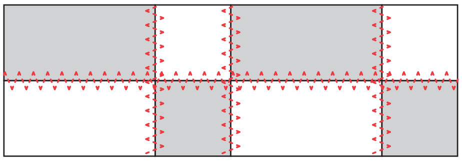
27ページ

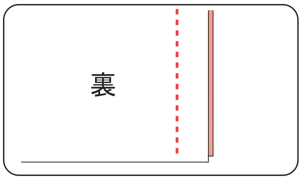
ワンポイントアドバイス

布の進む速度に合わせて、ゴムひもを伸ばしたまま布を一緒にずらすときれいに縫うことができます。
ゴムひもを伸ばしながら縫うときは、ゴムだけを強く引き伸ばすと針が手前に曲がり針が折れたり、目飛びがおこります。

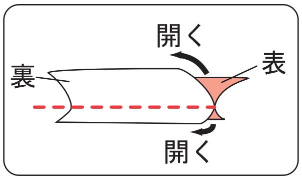
◆パッチワーク

いろいろな布をつなぎ合わせ、装飾に用います。

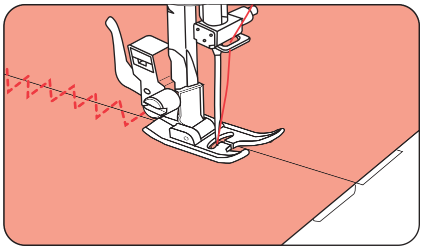




1 二枚の布の表を合わせ、直線縫いで縫い合わせをします。

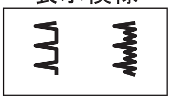


2 縫い合わせを開きます。



3 両方の布に模様がまたがるようにして縫います。

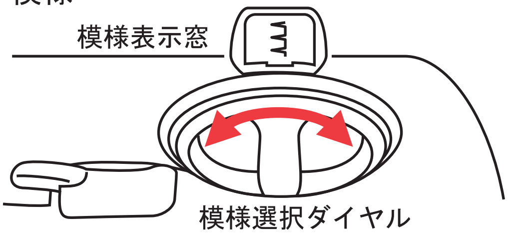
●まつり縫い（ブラインドステッチ）



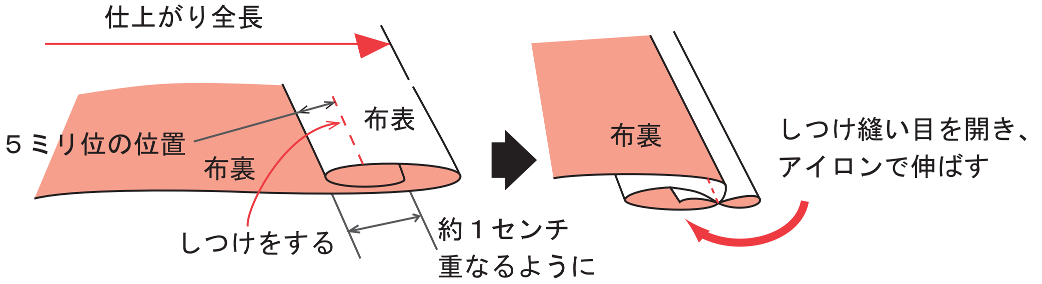
1 はずみ車をまわし、針上位置マークを合わせる（針を上にします）

2 模様選択ダイヤルをまわし、まつり縫い模様または伸縮まつり縫い模様に合わせる

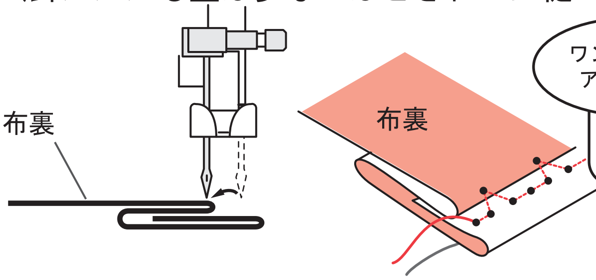
ズボンやスカートの裾上げ、袖口の裁縫に用います。服の寸法直しなどにもご利用いただけます。



3 布を図のように折り、しつけをする

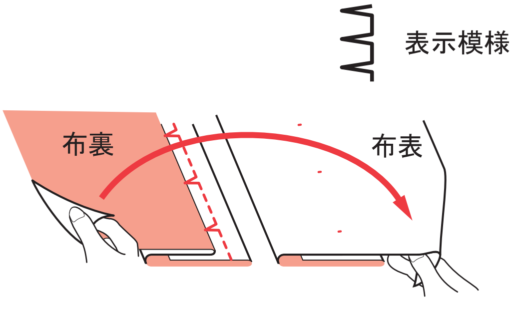


4 はずみ車を手前にまわし針を左側でゆっくり下げ、布の折り山にわずかに針がかかるよう、布の位置を合わせて縫う
（針がかかる量は少ないほどきれいに縫いあがります）



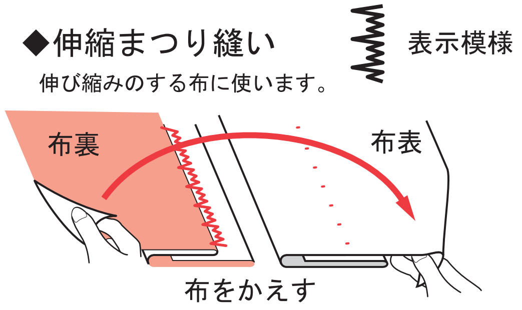
ワンポイント アドバイス
ミシンでまつり縫いをするときは、必ず布裏を上にしてセットしてください。

5 布を返し、しつけ糸を抜く



◆伸縮まつり縫い

伸び縮みのする布に使います。



ワンポイント アドバイス
まつり縫い模様で針が左のとき、布の折山に針がかかる量が少ないほどきれいに縫いあがります。
また、布の折山に針がかからないと仕上がりが目飛びをします。

28ページ

●ボタンホールかがり

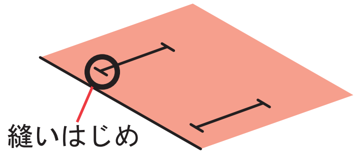
ボタンの大きさに応じたボタンホールができます。

ワンポイントアドバイス
伸縮性の布や薄い布は、不織布（芯地）を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

1 はずみ車をまわし、針上位置マークを合わせる （針を上にします）

2 ボタンホールを作る布に印をつける

ボタンの大きさに印をつけておくと、縫う方向と大きさを間違えません。



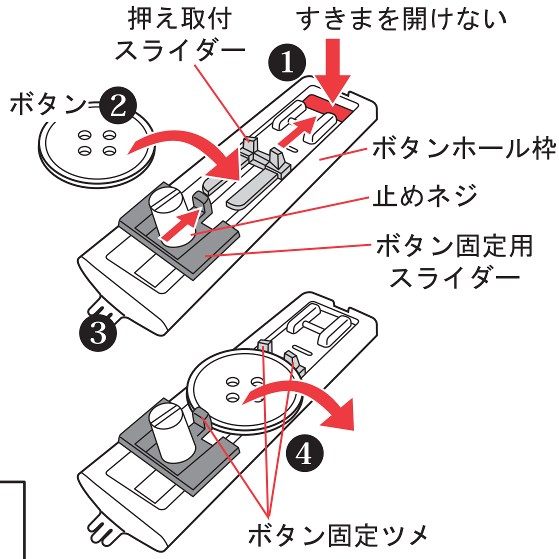
3 ボタンホール押えにボタンをセットする

❶ 押え取付けスライダーをスライドさせ、ボタンホール枠とのすきま（図の着色部）を閉じる。

❷ ボタンを置く。（止めネジをゆるめ、ボタン固定用スライダーをスライドさせ、ボタンを置けるように広げます）

❸ ボタン固定用スライダーの止めネジをしめ、ボタンを固定する。

❹ 止めネジをゆるめずに、ボタンをはずす。



4 ミシンに取り付けられている押えをはずす （押えのはずしかた･･･P12参照）

⚠ 注意	
電源スイッチを「切」にする ケガをするおそれがあります。	

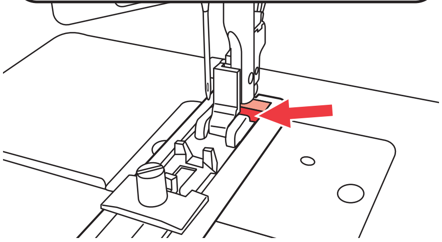
5 ボタンホール押えをミシンに取り付ける

ミシン本体に取り付けられている押えをはずし、ボタンホール押えを取り付ける。

（押えの取り付けかた･･･P13参照）

⚠ 注意	
針先に注意 ケガをするおそれがあります。	

! ボタンホール押えをミシンに取り付けるときはボタンをはずす

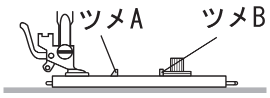
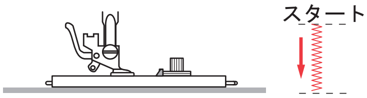
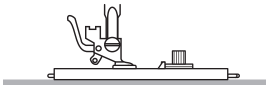
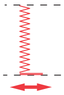
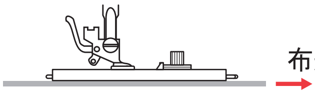
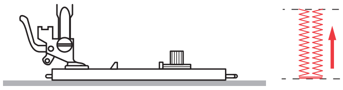
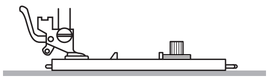
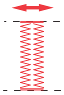


ボタンホール押えの枠を手前に引き、うしろ側のすきま（矢印）をなくします。

29ページ

6 ボタンホールの縫い進めかた

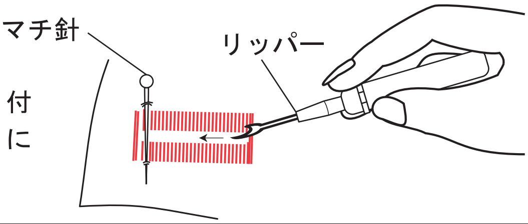
注意	針が刺さったまま、模様選択ダイヤルをまわさない ケガをするおそれがあります。

1	上糸の端を持ち、ゆっくり縫い始めます。 	ツメＡとＢのすきまがなくなったらミシンを止めます。 
4 2		５針程度かんぬき縫いをしてミシンを止めます。 
3	縫い始めの位置までゆっくりと縫います。 	縫い始めの位置まできたらミシンを止めます。 
4 2		５針程度かんぬき縫いをしてミシンを止めます。 

★さらに強度のあるボタンホールにするときには、布を動かさずもう一度重ねて縫ってください。

7 仕上げ

縫い終わったら布を引き出して糸を切り、付属のリッパーで縫い目を切り過ぎないようにボタン穴を切り開きます。

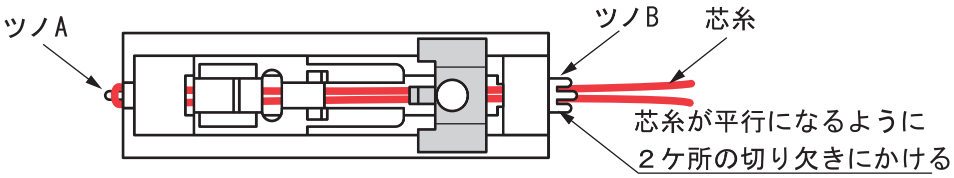


注意	リッパーの先端に手を添えない ケガをするおそれがあります。

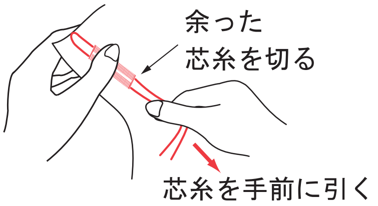
◆芯入りボタンホール

★伸縮性のある布や、丈夫なボタンホールにしたいとき

芯糸をボタンホール押えの「ツノA」に引っ掛けて押えの下から手前に引き、ねじれないように引きながら「ツノB」に固定します。



縫い終わったら芯糸を押えのツノからはずし、布を引き出し、右図のように芯糸の両端を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。



●釜の掃除と注油

⚠注意

電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く

お手入れ中、スタート/ストップボタンに触れると予期せずミシンが動きだし、手や指が挟まったり、針が刺さったりするおそれがあります。

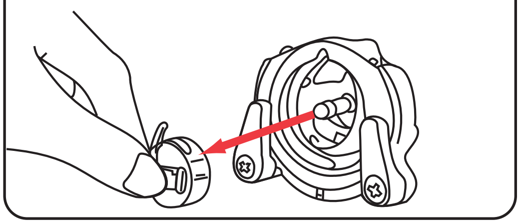
◆釜の中に糸くずやホコリがたまるとミシンの回転が重くなります。
次の手順で月一回程度の頻度で掃除をしてください。

⚠注意

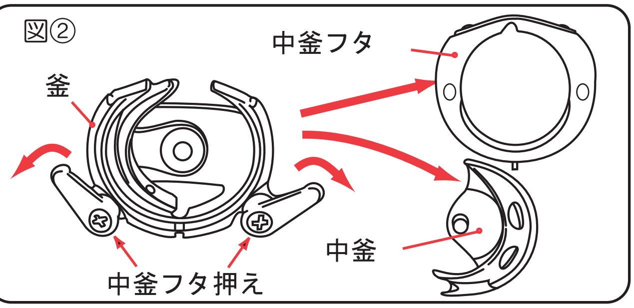
付属の油か市販の「ミシン油」をご使用ください。
その他の油を使用するとミシンが壊れます。
スプレー式の浸透潤滑剤は使用しないでください。
外装のプラスチックが割れるおそれがあります。

1. はずみ車を手前にまわし、針位置マークを合わせて針を上げます。
2. 糸コマをはずして上糸を取り除きます。
3. 釜カバーを開き、ボビンケースのツマミを持ってボビンケースを取り出します。（図①参照）
4. 中釜フタ押えを左右に開き、中釜フタ・中釜の順で取り出します。（図②参照）
5. 中釜にキズなどが無いかを確認し、キズがある場合は目の細かい紙ヤスリ等で取り除いてください。（図③参照）
6. 釜のまわりの糸くずやほこりを付属のブラシで取り除き、図で指示したところに付属の油さしで油を一滴さします。（図④参照）
7. 組み立てるときは向きに注意し、中釜・中釜フタの順番で取り付け、中釜フタ押えを閉じて固定します。（図⑤参照）

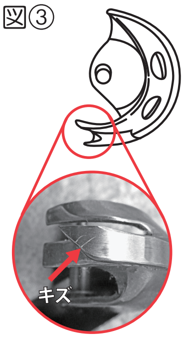
図① 針を上げ上糸を取り除いてから
ボビンケースを取り出します。



図②



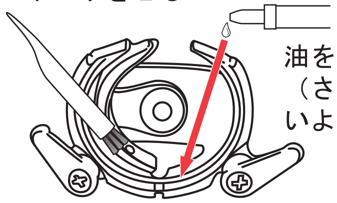
図③



中釜にキズが無いかを確認し、
キズがあれば、目の細かい
紙ヤスリ(400～1000番)などで
取り除く

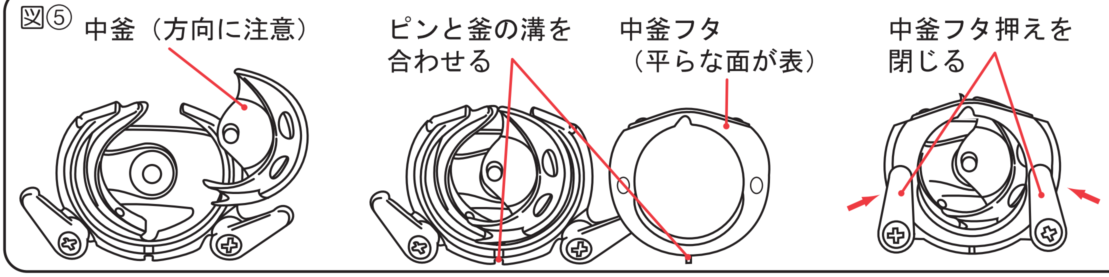
図④

付属品のブラシで油をさす前に
ホコリをとる



油を一滴さす
（さし過ぎな
いように）

図⑤



●送り歯の掃除

⚠ 注意	**電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く** お手入れ中、スタート/ストップボタンに触れると予期せずミシンが動きだし、手や指が挟まったり、針が刺さったりするおそれがあります。
⚠ 注意	**針先に注意** ケガをするおそれがあります。

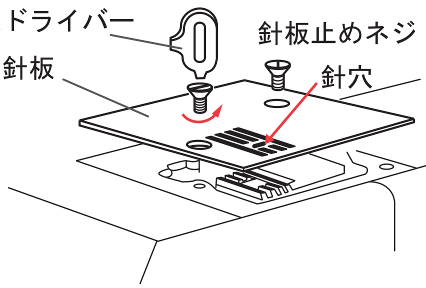
送り歯の隙間のゴミを取り除く
送り歯の隙間にゴミがたまると、布が進まなくなります。そのままで縫うと、糸がらみや針折れだけでなく、布を傷つけてしまいます。

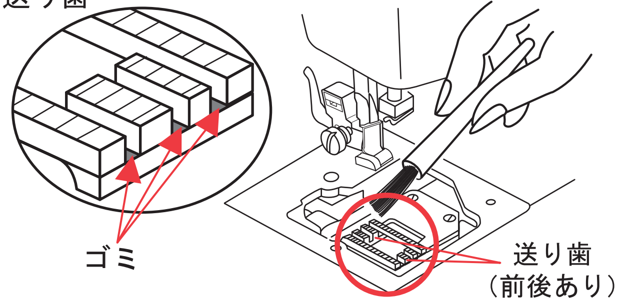
1 針をはずします。

2 押えをはずします。

3 2個の針板止めネジをはずします。

4 針板をはずします。





5 送り歯の隙間にはさまっているゴミ等を取り除きます。（前側送り、後側送りがあります）

6 針板の針穴にキズがある場合ヤスリなどで取り除く。

7 針板、ネジ、押え、針を取り付けます。

●ランプの交換

⚠ 注意	**ランプで火傷やケガをします** 使用直後ではランプが熱く、やけどをします。十分に冷えてから交換してください。また、ワレモノのため取り扱いに注意してください。

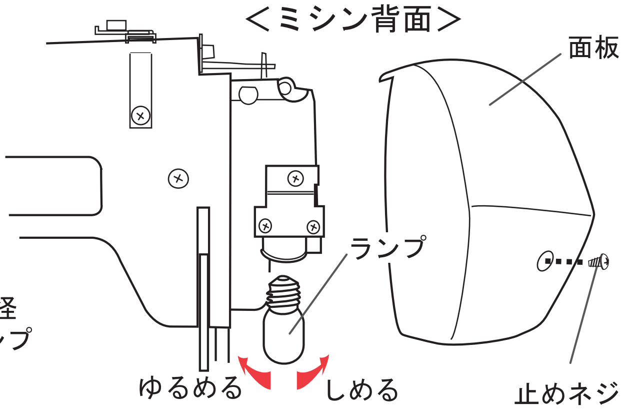
★ランプは面板内部に内蔵されています。
★面板の取りはずしと取り付けには軸径５ミリ程度のプラスドライバーをご使用ください。（小さいドライバーではネジをつぶします）
★針には十分ご注意ください。

1 止めネジをはずして面板をはずします。

2 ランプを左へまわしてはずします。

3 取り付けるときは右へまわして奥までしめます。

注：使用するランプは100V5Wの口径12ミリ（Ｅ12）のミシン用ランプに限ります。



32ページ

困ったときは

ミシンの調子が悪い場合は、次のことを確かめてください。

なぜ……？	ここをお調べください	参照ページ
ミシンが動かない	・電源コードが正しく接続されていますか？ ・電源スイッチとスタート/ストップボタンをもう一度押し直してください ・下糸巻軸が右側になっていませんか？ ・釜に糸がからみついていませんか？ ・フットコントローラーを差しているときスタート/ストップボタンでは動きません。	10 10 10 31 35
音がうるさい 回転が遅い	・釜の油が切れています ・釜の内部に糸くずがたまっていませんか？ ・送り歯にゴミがたまっていませんか？ ・針が古くなっていませんか？	31 31 32 11
針が折れてしまう	・布を無理に引っぱっていませんか？ ・針の取りつけかたは正しいですか？ ・上糸の調子が強すぎませんか？ ・針と糸、布の関係は正しいですか？ ・釜や針板にキズがありませんか？	22 12 23 11 31, 32
糸がからまる	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節はしましたか？ ・押えが下がっていますか？ ・ボビンケースが正しくセットされていますか？	17 23 22 16
上糸が切れる	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節はしましたか？ ・針の取りつけかたは正しいですか？ ・針と糸、布の関係は正しいですか？ ・糸が古くなっていませんか？ ・針が折れた場合は中釜にキズが無いかを確認してください。	17 23 12 11 11 31
下糸が切れる	・ボビンケースが正しくセットされていますか？ ・釜に糸がからみついていませんか？ ・ボビンケースへボビンが正しくセットされていますか？ ・糸が古くなっていませんか？ ・針が折れた場合は中釜にキズが無いかを確認してください。	16 31 16 11 31
下糸がうまく巻けない	・下糸の巻きかたは正しいですか？ ・下糸巻案内に一周巻きつけ、皿の下にきちんと糸をくいこませていますか？	15 15

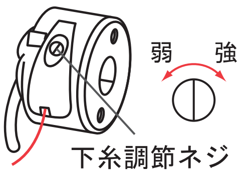
なぜ……？	ここをお調べください	参照ページ
布が 送れない	・送り歯にゴミがたまっていませんか？ ・模様の選びかたは正しいですか？ ・布を引っ張っていませんか？ ・糸がからまっていませんか？	32 21 26 23
縫い目が とぶ	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・針の取りつけかたは正しいですか？ ・針と糸、布の関係は正しいですか？ ・針が曲がっている可能性があります。	17 12 11 11
縫い目に 輪ができる	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節はしましたか？ ・ボビンケースが正しくセットされていますか？ ・針の交換をしてください。 ・釜にキズがないか確認してください。	17 23 16 12 31
縫い目に しわがよる	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調子が強すぎます。 ・ボビンケースが正しくセットされていますか？ ・針と糸、布の関係は正しいですか？ ・針が古くなっていませんか？	17 23 16 11 11
布の裏側が タオル地の ようになる （P23参照）	・上糸のかけかたは正しいですか？ ・上糸調節ダイヤルの目盛りが〝0〟になっていませんか？ ・押えが下がっていますか？ ・釜や針板にキズがないか確認してください。	17 23 22 31, 32

この項に記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスは、38ページのカタログハウス「商品ご相談課」までお問い合わせください。

＊不具合が出た場合は、もう一度取扱説明書の最初の手順からやり直してみてください。

★上糸調節ダイヤルだけで糸調子が合わない場合は、ボビンケースの調節ねじで糸調子を調節することができますが、調節は非常に繊細ですので、慣れた方以外は行わないようにしてください。
ボビンケースの糸調子の確認は38ページの「お客様相談係」までお問い合わせください。

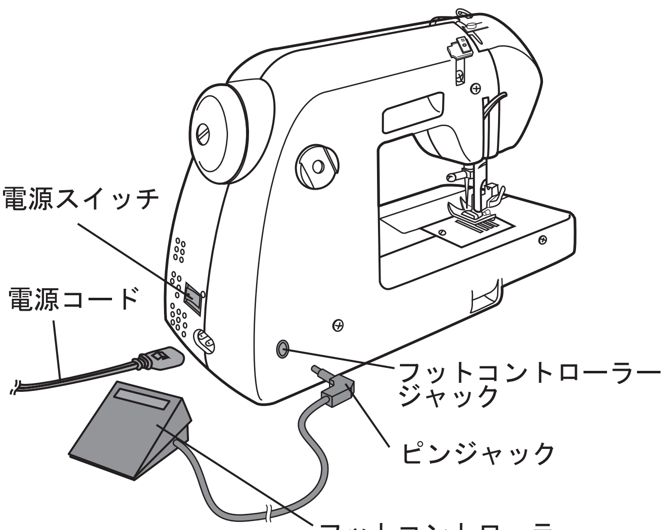
★付属のドライバーで調節するときは1/3回転以上回さないでください。



別売りフットコントローラーの使いかた

⚠ 注意	火災・感電・ケガのおそれがあります。
❗	**作業が終わったら、フットコントローラーピンジャックを抜く** フットコントローラーのピンジャックの取り扱いに注意してください。
⊘	**フットコントローラーに物を載せない**

●各部のなまえ



●使いかた

1. フットコントローラーのピンジャックをミシン本体のフットコントローラージャックに奥まで確実に差込みます。
2. 電源コードを接続し、電源スイッチを「入」にします。
3. フットコントローラーを少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
4. 踏み込むほどミシンのスピードが速くなります。
5. 踏み込むのをやめるとミシンは針上で停止します。

★ミシン本体のスピード調節ツマミでフットコントローラーでの最高速度が調節できます。

ワンポイントアドバイス

スピードがおそい… ► **スピード調節ツマミを「はやい」にする**

ツマミが「おそい」の位置にあるとフットコントローラーを踏み込んでもスピードが速くなりません。

ミシンが動かない… ► **スタート/ストップボタンでは動きません**

フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップスイッチを押しても動きませんが故障ではありません。

●専用フットコントローラーのお申込みはこちら

専用フットコントローラー（ 4C-333A型 ）
価格￥3,500(税抜)
送料￥250(税込)が別途かかります。

(株)カタログハウス　お客様センター
フリーダイヤル 0120-164-164　　FAX 0120-709-567
(平日 午前 9:00〜午後 7:00、土曜 午前 9:00〜午後 6:00、日・祭日休み)

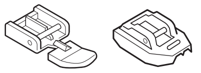
純正指定部品のご案内

■純正オプション部品

このミシンでは一般的な家庭用ミシン部品が使用可能ですが、市販部品にはこのミシンに適合しない部品もございますので、お求めの際には純正部品のご購入をお勧めいたします。

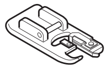
※下記の部品はカタログハウスではお取り扱いをしておりません。

ファスナーつけ押え／コンシール®ファスナー押え
価格各￥200(税抜)
送料￥76(税抜)



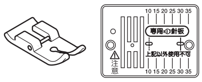
ファスナーやコンシール®ファスナーを取り付ける際に便利です。

縁かがり押え
価格￥190(税抜)
送料￥76(税抜)



縁かがりの際に幅を一定にさせるのに便利です。

直線縫いセット
価格￥1,000(税抜)
送料￥112(税抜)

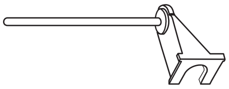


直線縫い専用の押えと針板で、軟らかい生地などでも安定した直線の縫い目になります。

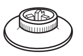
※2点以上の部品をお求めの場合は、1回のご注文につき【全国一律200円(税抜)】となります。

■純正補充部品

糸立棒
価格￥240(税抜)
送料￥112(税抜)



糸コマ押え
価格￥90(税抜)
送料￥112(税抜)

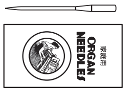


専用電源コード
価格￥800(税抜)
送料￥190(税抜)

付属説明シール
価格￥100(税抜)
送料￥76(税抜)

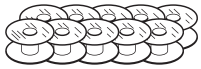
(以下の部品は手芸店等でもお求めいただけます)

針パック
(普通針 #11,14,16／ニット針 #11)
価格￥200(税抜)
送料￥76(税抜)

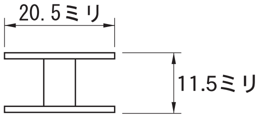


当社以外でご購入の際には、家庭用ミシン針 HAx1タイプとご指定下さい。
(一般的な家庭用です)

ボビン(10個)
価格￥400(税抜)
送料￥112(税抜)



当社以外でご購入の際には下記の高さのプラスチックボビンをご指定下さい。



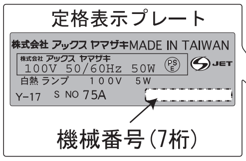
＊ボビンの高さは約11.5ミリです
＊ボビンの直径は約20.5ミリです

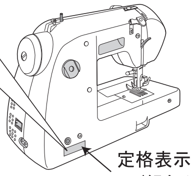
■ご購入方法

日本郵便 (JP)で払込取扱票用紙(青色)にお客様の氏名、住所、電話番号を明記し、通信欄にご希望部品のなまえ、ご使用のミシン型式(AG-003)、ミシン背面にある定格表示プレートの機械番号(7ケタ)を記入のうえ、部品価格と送料を下記口座までお振り込みください。お振込み確認後に発送いたします。

(※お振込み後１週間から10日で商品がお手元に届きます)
(※お振込み手数料はお客様でご負担願います)

お振込み先
口座番号　00970-7-39524
加入者名　(株)アックスヤマザキ





定格表示プレート
(銀色シール)

■純正指定部品についてのお問い合わせ先

〒544-0022　大阪市生野区舎利寺3-12-5
(株)アックスヤマザキ　AG-003 部品請求係　行
0120-555-564
(平日 午前9:00～12:00　平日 午後1:00～5:00　土・日・祭日休み)

36ページ

ミシンの仕様

型式	AG-003
定格電圧	100V
消費電力	50W（ランプ 5W含む）
周波数	50Hz/60Hz
ランプ定格	5W100V　口径12㎜
寸法	幅：38.8cm×奥行：17.5cm×高さ：28cm
重量	5.4kg
専用電源コード	コード長さ2m
専用別売り フットコントローラー	４C-333A

サービス工場のご案内

ご購入いただきましたミシンは、下記の工場で点検修理、交換等のサービスをいたします。
尚、サービスには有償と無償の場合がありますので、38ページにある「お客様相談係」にお問い合わせの上、サービス工場にご送付ください。
＊ご送付のときは、このミシンの箱と緩衝材に収納してください。

送付先　〒544-0022 大阪市生野区舎利寺3-12-5
（株）アックスヤマザキ　サービス係　行
TEL 06-6717-5851 （平日 午前9:00～12:00　平日 午後1:00～5:00
土・日・祭日休み）

修理サービス要領

■修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から３年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。

2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

■修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製品の生産終了から25年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

■無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスいたします。
   ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
   イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
   ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
   ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
   ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサ-ビス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元通りに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、輸送費および技術料金の合計額となります。

●修理サービスについてのお問い合せ

商品ご相談課

0120-701-567　FAX 0120-709-567

（平日 午前９：00～午後７：00、土曜 午前９：00～午後６：00、日・祭日休み）

株式会社　**カタログハウス**

〒151-0053東京都渋谷区代々木2-12-2

●使いかたや部品についてのお問い合せ

お客様相談係

(東日本地区にお住いの方はこちら)

0120-200-600

（午前 10：00～午後 6：00 土・日休み）

石田株式会社

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北2丁目37番10号

(西日本地区にお住いの方はこちら)

0120-555-564

（午前 9：00～12：00　午後 1：00～5：00 土・日・祭日休み）

株式会社 **アックス ヤマザキ**

〒544-0022

大阪市生野区舎利寺3丁目12番5号

ミシン保証書

<table>
<tr><td colspan="2">形名</td><td>AG-003</td><td>※お買い上げ日</td><td>保　証　期　間</td></tr>
<tr><td colspan="2">機械番号</td><td></td><td>年　　月　　日</td><td>お買い上げ日より
本体
３ヶ年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td>ご住所</td><td colspan="3">〒　　　　TEL　　　　　　　　　　様方</td></tr>
<tr><td>フリガナ
お名前</td><td colspan="3">様</td></tr>
<tr><td rowspan="2">販売店</td><td>住　所</td><td colspan="3">〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-12-2</td></tr>
<tr><td>店　名</td><td colspan="3">株式会社　カタログハウス</td></tr>
</table>

※印欄は必ず記録をご確認してください。記録がない場合には、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行はできないので大切に保管してください。

本書は、本記載内容で保証期間を設定させていただき、無料修理をお約束するものです。

1. お客様の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きによる正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
2. なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店または直接下記へご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間内でも有料になります。

（１）ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
（２）お買い上げ後の、落下や運送上の故障および損傷。
（３）火災・塩害・ガス害・地震・風水害・落雷・異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
（４）本書の提示がない場合。
（５）本書にお客様名・お買い上げ日・販売店名の記入のない場合または書きかえられた場合。
（６）一般家庭用以外（業務用など）にご使用での故障および損傷。
（７）ご使用後の傷・変色・汚れおよび保管上の不備による損傷。
（８）消耗部品の交換。

4. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼できない場合には、直接下記へご相談ください。

修理メモ

※この保証書は、本書によって明示した期間・条件のもとに無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または直接下記へ、お問い合わせください。

【製造元】
株式会社アックス ヤマザキ
〒544-0022　大阪市生野区舎利寺３丁目１２番５号
TEL (06)6717-5851～3/FAX (06)6741-7875

No.031　　201407